

平成24年度 予算(案)の概要

安全と安心を地域の絆で守り
未来へ輝くまちづくり



平成24年2月15日
大田区

平成 24 年度予算（案）の編成にあたって

大田区の平成 24 年度予算は、特別区税と特別区交付金の基幹財源が依然として減少傾向にある一方、雇用環境の悪化や少子高齢化等に伴う社会保障関係経費が増加傾向にあり、当初から多額の財源不足が生じることが見込まれる大変厳しい財政環境での編成となりました。

こうした難局といえる状況の中でも、区民生活や区内経済を守り抜くとともに、区の未来へ向けた歩みを着実に進め、同時に、財政の健全性を堅持するという強い決意を「予算」という形に表すことができました。

昨年、東日本大震災という未曾有の災害が発生しました。被災地では想像を絶する被害が生じ、今もなお多くの方々が厳しい生活環境を余儀なくされています。区は、震災直後から、区民の皆さまとの協働による「大田区被災地支援ボランティア調整センター」を立ち上げ、ボランティア派遣や物資の提供を行ってきました。今後も、区民の皆さまと手を携え、被災地の 1 日も早い復興に向け、支援を行ってまいります。

震災は、地域社会や行政に対し多くの教訓を投げかけました。区は、この教訓を糧とし、首都直下型地震を始めとする災害に対し着実に備えるため、総合防災力の強化を図っていきます。公共施設や都市基盤施設の維持更新を適切に進めるなど、区民生活の安全と安心を守る役割を確実に果たしてまいります。

社会経済状況の不透明感が強まる中、一人ひとりの区民の皆さまが、安全・安心に地域で暮らすことができることが何よりも重要です。福祉、医療、教育などの充実によって、誰もが大田区に住み続けたいと思えるよう、地域力を活かし、まちの魅力を高めてまいります。

昨年 12 月、東京都が申請していた「アジアヘッドクォーター特区」が国の国際戦略総合特区に指定されました。東京に海外企業を誘致し、アジアの拠点として日本全体の再生を目指す構想であり、指定区域には、区が提案した羽田空港跡地第 1 ゾーンが含まれています。区は、国際化した羽田空港との隣接性を活かし、海外企業と区内中小企業を含む国内企業とのビジネスマッチングなどの支援を通じて特区構想の一翼を担い、大田区の発展とともに日本再生の起爆剤にしたいと考えています。

平成 24 年度の一般会計予算規模は、2,264 億 4 千万円余で、前年度比 44 億 3 千万円余、1.9%の減額予算としました。

この予算のスローガンを「安全と安心を地域の絆で守り、未来へ輝くまちづくり」と掲げ、区民の皆さまとともに、力強く区政を前進させてまいります。

平成 24 年 2 月

大田区長

松原 忠義

目 次

1	平成 24 年度予算編成の基本的な考え方	8
2	持続可能な財政運営に向けた取組	9
3	財政規模	11
4	歳入の状況（一般会計）	12
5 - 1	歳出の状況（一般会計 性質別）	13
5 - 2	歳出の状況（一般会計 目的別）	14
6	特別会計予算の特徴	15
7	基金の状況	16
8	大田区の経営改善	17
9	主な組織の改正について	18
	平成 24 年度 一般会計予算（案）集計表	19
(1)	歳入（款別）	19
(2)	歳出（款別）	20
10	事業説明資料	21
(1)	健康・福祉・医療	
1	スポーツ健康都市宣言記念事業 新規  	22
2	大田区総合体育館の開館 新規  	23
3	スポーツ祭東京 2013 リハーサル大会の開催 新規	24
4	高齢者見守り体制の充実 新規 	25
5	高齢者就労支援事業 	26
6	都市型軽費老人ホームの整備	27
7	（仮称）障がい者総合サポートセンターの設置・建設 新規 	28
8	ユニバーサルデザインのまちづくり事業  	29

9	街なか” すいすい” プランの策定	新規	☺☺☺	30
10	小児救急支援事業	新規	☺☺☺	31
11	高齢者予防接種（肺炎球菌予防接種費用助成）			32
(2)	子育て・教育				
1	待機児童対策の充実	新規		33
2	社会福祉センターでの一時預かり・定期利用保育事業への助成	新規		34
3	学校休業日の学童保育延長利用の開始	新規		35
4	児童虐待対策の強化			36
5	こども発達センターわかばの家のサービスの充実	新規		37
6	小学生駅伝大会の実施	新規		38
7	学校運営システムの運用管理			39
8	校庭の芝生化（雪谷小学校）	新規	☺☺☺	40
9	校舎等の改築			41
(3)	安全・安心				
1	区立保育園・民間保育所・福祉避難所における防災備蓄物品の確保	新規	☺☺☺	43
2	防災意識の啓発と防災体制の推進	新規	☺☺☺	44
3	蒲田駅周辺での帰宅困難者対策	新規	☺☺☺	45
4	羽田空港天空橋船着場の管理	新規	士	46
5	防災船着場を利用した防災訓練	新規	☺☺☺	47
6	老朽化街路灯の緊急取替工事（LED街路灯）	新規		48
7	密集住宅市街地整備促進事業			49
8	耐震診断・改修助成事業			50

9	都市防災不燃化促進事業	51
10	池上第二保育園耐震補強等改修工事	新規	52
11	橋梁の補修	53
12	橋梁の架替整備	54
13	橋梁の耐震補強整備	55
14	被災地支援ボランティア調整センターの運営	新規 	56
(4)	産業・環境		
1	(仮称) 東糞谷六丁目工場アパートの開設	新規	57
2	新製品・新技術開発支援事業	59
3	区内工場立地・操業環境整備助成事業	士	60
4	ものづくり人材の育成・確保		61
5	技術連携による大手企業との取引開拓事業	新規	62
6	大田ブランド紹介 DVD のリニューアル	士	63
7	区損失補償付融資あっせん企業への経営サポート	新規	64
8	商店街コミュニティ活性化事業		65
9	環境基本計画の推進	新規  士	66
10	エコライフの普及	67
11	住民参加型植樹管理（おおた花街道）	新規 	68
12	歩行喫煙防止・喫煙マナーの向上	69
(5)	観光・文化		
1	「梅ちゃん先生」観光 PR 事業	新規  士	70
2	観光情報の提供	新規 士	71
3	訪日外国人旅行者受入環境整備事業	士	73

4 川瀬巴水コレクションの購入 新規 74

(6) 魅力あるまちづくり

1 空港跡地整備に係る調査 新規 75

2 国際戦略総合特区推進事業 新規 76

3 蒲田駅周辺地区の整備  77

4 大森駅周辺地区の整備  78

5 新空港線「蒲蒲線」整備促進事業 79

6 海辺の散策路整備 新規 80

7 桜のプロムナードの整備 81

8 魅力ある公園のリニューアル 82

9 空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等基礎調査 新規 83

10 景観計画策定事業84

11 公園施設長寿命化計画策定85

12 団体支援とネットワークの強化 86

- | |
|--|
| <p>※ 事業説明資料については、表示単位未満を四捨五入しています。</p> <p>※ 計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により計算しています。</p> <p>※ 端数処理の関係で表の合計が合わない場合があります。</p> <p>※  地域力に関する事業には、このマークを表示しています。</p> <p>※  国際都市をめざす事業には、このマークを表示しています。</p> <p>※ 新規 新規事業を含む事業には、このマークを表示しています。</p> |
|--|

＜平成24年度予算(案)の概要＞

平成24年度予算案は、次の考え方をもとに編成しました。

★：新規事業 ○○○：地域力に関する事業 ☆：国際都市をめざす事業

一般会計総額

2,264億4,779万円

(平成23年度比 1.9%減)

安全と安心を地域の絆で守り、未来へ輝くまちづくり

- 1 総合防災力を強化し、災害に強く誰もが安全・安心に暮らせるまちをつくります。
- 2 「地域力」を活かしてまちの元気を支え、産業交流など「国際都市おおた」を推進します。
- 3 新たな課題にも迅速かつ的確に対応しながら、「おおた未来プラン10年」を着実に推進します。

健康・福祉・医療

区民の健康づくり活動に対する関心を高め、「スポーツ健康都市おおた」にふさわしいまちづくりを進めます。

- ★スポーツ健康都市宣言記念事業(1,239万円) ○○○☆
- ★大田区総合体育館の開館(3億4,561万円) ○○○☆
- ★高齢者見守り体制の充実(6億3,139万円) ○○○
- ☆高齢者就労支援事業(2,485万円) ○○○
- ★(仮称)障がい者総合サポートセンターの設置・建設(4,768万円) ○○○
- ☆ユニバーサルデザインのまちづくり事業(1億6,843万円) ○○○☆
- ★小児救急支援事業(4,000万円) ○○○
- ☆高齢者予防接種(肺炎球菌予防接種費用助成)(9,537万円)



子育て・教育

未来を担う「おおたっ子」が健やかに成長するよう、子育て環境の整備を進めます。

- ★待機児童対策の充実(15億827万円)
- ★社会福祉センターでの一時預かり・定期利用保育事業への助成(581万円)
- ★学校休業日の学童保育延長利用の開始(1,053万円)
- ☆児童虐待対策の強化(251万円)
- ★小学生駅伝大会の実施(50万円)
- ☆学校運営システムの運用(3億3,801万円)
- ★校庭の芝生化(雪谷小学校)(8,501万円) ○○○
- ☆校舎等の改築(19億383万円)



安全・安心

東日本大震災の教訓を活かして総合防災力を強化し、区民の安全・安心を守ります。

- ★区立保育園・民間保育所・福祉避難所における防災備蓄物品の確保(1,180万円) ○○○
- ★防災意識の啓発と防災体制の推進(255万円) ○○○
- ★蒲田駅周辺での帰宅困難者対策(312万円) ○○○
- ★羽田空港天空橋船着場の管理(1,149万円) ☆
- ★防災船着場を利用した防災訓練(39万円) ○○○
- ★老朽化街路灯の緊急取替工事(LED街路灯)(1,250万円)
- ☆耐震診断・改修助成事業(8億5,595万円)
- ☆都市防災不燃化促進事業(7,719万円)
- ☆橋梁の整備(9億3,659万円)
 - ・橋梁補修
 - ・架替整備
 - ・耐震補強整備
- ★被災地支援ボランティア調整センターの運営(5,701万円) ○○○



産業・環境

大田区の産業の活性化の支援を推進します。地球環境に配慮した取り組みを強化します。

- ★(仮称)東糞谷六丁目工場アパートの開設(1億9,767万円)
- ☆新製品・新技術開発支援事業(9,559万円)
- ☆区内工場立地・操業環境整備助成事業(1億1,240万円) ☆
- ☆ものづくり人材の育成・確保(2,256万円) ○○○
- ★技術連携による大手企業との取引開拓事業(202万円)
- ☆商店街コミュニティ活性化事業(978万円) ○○○
- ★環境基本計画の推進(531万円) ○○○☆
- ☆エコライフの普及(1億655万円)
- ★住民参加型植樹管理(おおた花街道)(230万円) ○○○



観光・文化

蒲田を舞台とした連続テレビ小説の放映を契機とした観光振興を図るとともに、外国人観光客のおもてなしを充実するなど、大田区が持つ魅力を区内外に発信します。

- ★「梅ちゃん先生」観光PR事業(1,260万円) ○○○☆
- ★観光情報の提供(2,320万円) ☆
- ☆訪日外国人旅行者受入環境整備事業(635万円) ☆
 - ・おもてなし研修の開催
 - ・外国人対応メニューの作成支援
 - ・PR用ホームページの設営等
- ★川瀬巴水コレクションの購入(1,500万円) ○○○



魅力あるまちづくり

区民が主体となって行う地域活動を支援し、地域の特色を活かしたまちづくりを推進するとともに、国際戦略総合特区構想の実現に向けた取り組みを進めます。

- ★国際戦略総合特区の推進(2,690万円) ☆
 - ・空港跡地整備に係る調査
 - ・国際戦略総合特区推進事業
- ☆蒲田駅周辺地区の整備(4,905万円) ○○○☆
- ☆大森駅周辺地区の整備(1,946万円) ○○○☆
- ☆新空港線「蒲蒲線」整備促進事業(1,047万円) ☆
- ★海辺の散策路整備(5,625万円) ☆
- ★空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等基礎調査(860万円) ☆
- ☆景観計画策定事業(1,558万円)
- ☆公園施設長寿命化計画策定(3,465万円)
- ☆団体支援とネットワークの強化(3,305万円) ○○○
 - ・地域力応援基金助成事業
 - ・協働推進講師派遣事業
 - ・区民活動情報サイトの運営

地域力

地域力の源は区民一人ひとりの力です。この力が結びつくことでより大きな地域力が生まれ、これを区政に活かすことで、誰もが暮らしやすいまちが実現します。



国際都市

羽田空港の国際化により、大田区が世界とつながるまちとして今後ますます重要な立場になることを見据え、大田ブランドの発信や、外国人の受入環境整備、多文化共生のまちづくり等を推進します。

平成22年10月の羽田空港の国際化以降、訪日外国人旅行者の受入環境整備の外国人受入戦略拠点や国際戦略総合特区に選定されるなど、大田区は世界とつながるまちとして、歴史的な転換点にあります。大田区の元気が東京、ひいては日本再生の起爆剤となることをめざし、「国際都市おおた」を推進します。



防災・防犯、福祉、子育て、産業等、多様化する地域課題を、地域の方や事業者、団体・NPO等と連携・協働しながら解決するため、地域力を積極的に応援しています。平成23年度は、地域防災・防犯活動への支援や、NPO・区民活動フォーラムの開催、地域力応援基金助成事業等により、地域力をさらに強化する取り組みのほか、18色のまちづくり事業や区民活動情報サイト(オーちゃんネット)の運営等により、地域力をつなげ、活用する取り組みを推進してきました。

1 平成 24 年度予算編成の基本的な考え方

【編成方針】

平成 24 年度予算は、

「安全と安心を地域の絆で守り、 未来へ輝くまちづくり」

と位置づけ、次の視点を基本に編成しました。

視点

～ 区民の安全・安心の確保と、未来に向けた区政の着実な前進 ～

- 不確実性が増す社会経済状況にあっても、新たな行政需要に対応する施策や「おおた未来プラン 10 年」に掲げた施策を、着実に推進する。
- 総合防災力の強化や学校・庁舎などの公共施設、道路・橋梁などの都市基盤施設の維持更新を適切に進め、区民の安全と安心を確保する。
- 地域の絆を深め、乳幼児から高齢者まで、さらには、障がい者や外国人が地域で安心して暮らせるよう、福祉、医療、教育の支援充実など、生活に密着した施策を着実に展開する。
- 未来へ躍動する国際都市の実現に向け、国際戦略総合特区の推進による産業の活性化、スポーツ健康都市の実現、魅力あるまちづくりの推進などに積極的に取り組む。

～ 財政の対応力の発揮と、健全性の堅持 ～

- 区民生活・区内経済に不可欠な事業や区の未来へ向けた施策を戦略的に推進するため、区財政の対応力を発揮するとともに、真に必要な施策を厳選し、限られた財源を効果的・効率的に配分する。
- 区財政が直面する厳しい財政環境にあっても、将来にわたり安定した行政サービスを可能とする財政基盤の維持に向け、未来プランの点検実施など、施策の聖域なき見直し・再構築による歳出総額の抑制を図る。

2 持続可能な財政運営に向けた取組

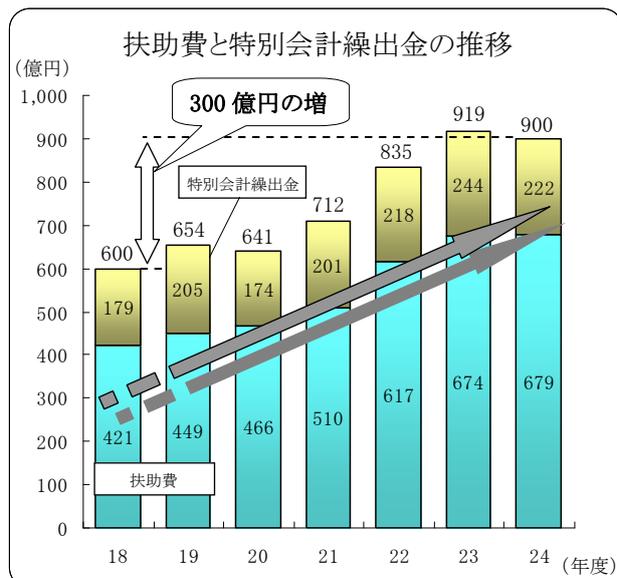
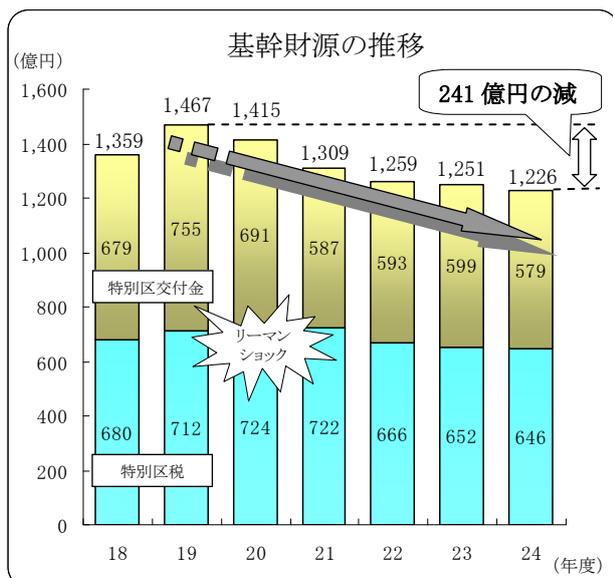
区は、特別区税と特別区交付金の基幹財源が減少傾向にある一方、少子高齢化や雇用環境の悪化がもたらす扶助費などの社会保障関係経費等が増大し、財政規模が拡大傾向にあるという厳しい財政環境に直面しています。

社会経済の先行きに対する不確実性が増す状況にあって、区民生活や区内経済に必要な行政サービスの安定的な提供、総合防災力強化などへの迅速な取組、区の未来に向けた戦略的な施策の推進など、時機を逸することなく区が直面している様々な財政需要に的確に応えなければなりません。

区は、厳しい財政環境が続く中でも、財政の健全性を維持するとともに、基金や特別区債といった財政の対応力を発揮し、限りある財源を最大限に有効活用して、区民に最も身近な基礎自治体としての使命を、将来にわたり確実に果たしてまいります。

区財政が直面する厳しい状況

- リーマンショックに端を発した世界同時不況以降、区の基幹財源である特別区税と特別区交付金は減少傾向で推移し、平成 19 年度をピークに 5 年間で約 241 億円の減となっています。
- 社会保障関係経費である生活保護費や介護給付費等の扶助費、国民健康保険事業特別会計など各特別会計への繰出金が、6 年前と比較して約 300 億円の増となっており、財政規模の拡大に大きな影響を及ぼしています。

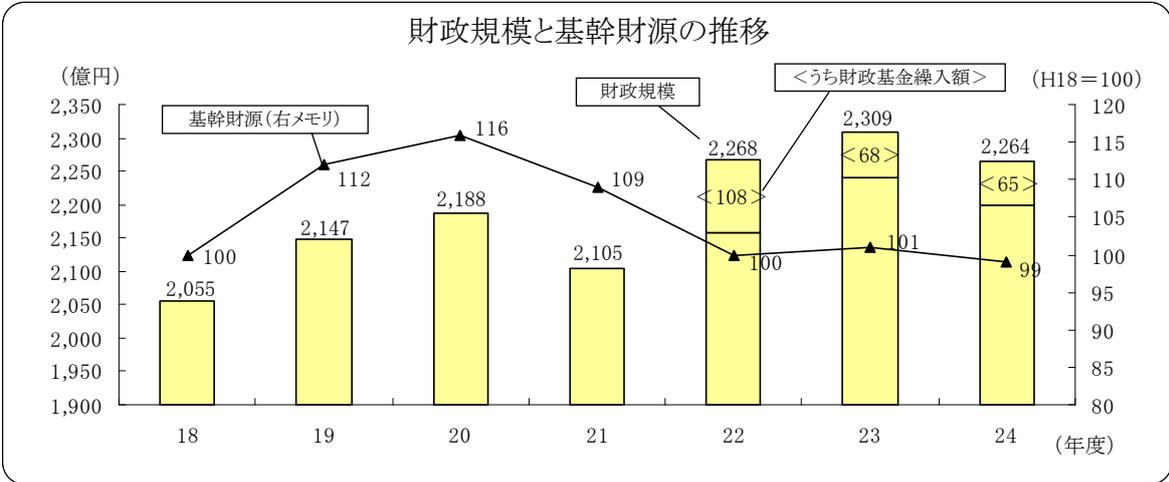


※平成 24 年度は当初予算額、23 年度は第 5 次補正後予算額、22 年度以前は決算額です。

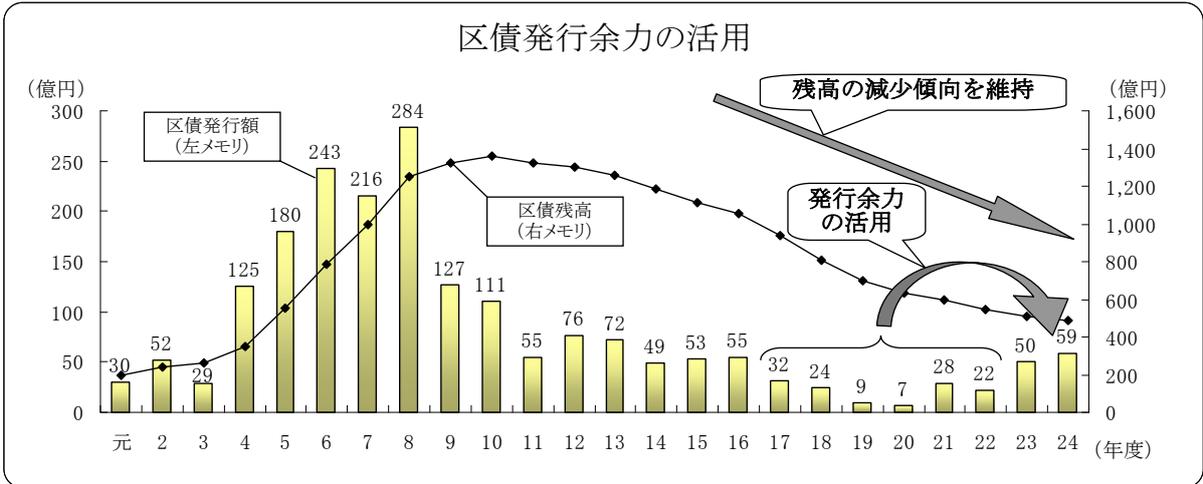
※特別会計繰出金は、国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険、(老人保健医療：平成 22 年度まで) の 4 特別会計への繰出金です。

将来にわたり、区が担うべき役割を果たすために

- 区は、厳しい財政環境にあっても、財政基金の活用などにより行政の役割を確実に果たしてきました。基幹財源の大幅な好転は考えにくいことから、厳しい財政環境が当面続くことを想定し、施策の見直し・再構築など内部努力の徹底により、財政規模の縮減を図りました。
- 区民生活・区内経済に不可欠な行政サービスの提供や、総合防災力の強化に向けた取組、さらに、区の未来へ向けた戦略的な施策などに的確に取り組むことが必要です。そのために、基金残高の確保、特別区債の発行余力など、計画的な財政運営により培ってきた区財政の対応力を発揮し、限られた財源を最大限に有効活用することにより、着実に区政を前進させていきます。



※各年度とも当初予算額を基準としています。



※平成 24 年度は当初予算額、23 年度は第 5 次補正後予算額、22 年度以前は決算額です。

3 財政規模

- 一般会計の予算規模は、前年度比 1.9%減の 2,264 億円となりました。厳しい社会経済状況を反映し、扶助費や特別会計への繰出金を中心とした社会保障関係経費が増額となる一方で、人件費や消耗品などの需用費、委託料などの経費を精査・節減しました。
- 歳入のうち、半分以上を占める特別区税と特別区交付金の合計は、前年度比 2.1%減の 1,226 億円と、減収を見込みました。
- 歳出のうち、「おおた未来プラン 10 年」に掲げた施策を着実に推進するための経費は、未来プランの点検を踏まえ、245 億円を計上しました。予算規模 2,264 億円の約 11%を占める結果となっています。

【一般会計】

(単位：億円、%)

区 分	24 年度	23 年度当初	増減額	増減率
歳 入	2,264	2,309	△44	△1.9
うち特別区税+特別区交付金	1,226	1,251	△26	△2.1
歳 出	2,264	2,309	△44	△1.9
うち計画事業予算	245	309	△64	△20.8

【全会計】

(単位：億円、%)

区 分	24 年度	23 年度当初	増減額	増減率
一 般 会 計	2,264	2,309	△44	△1.9
特別会計 [3 会計]	1,291	1,199	92	7.7
全会計合計 [4 会計]	3,555	3,508	48	1.4

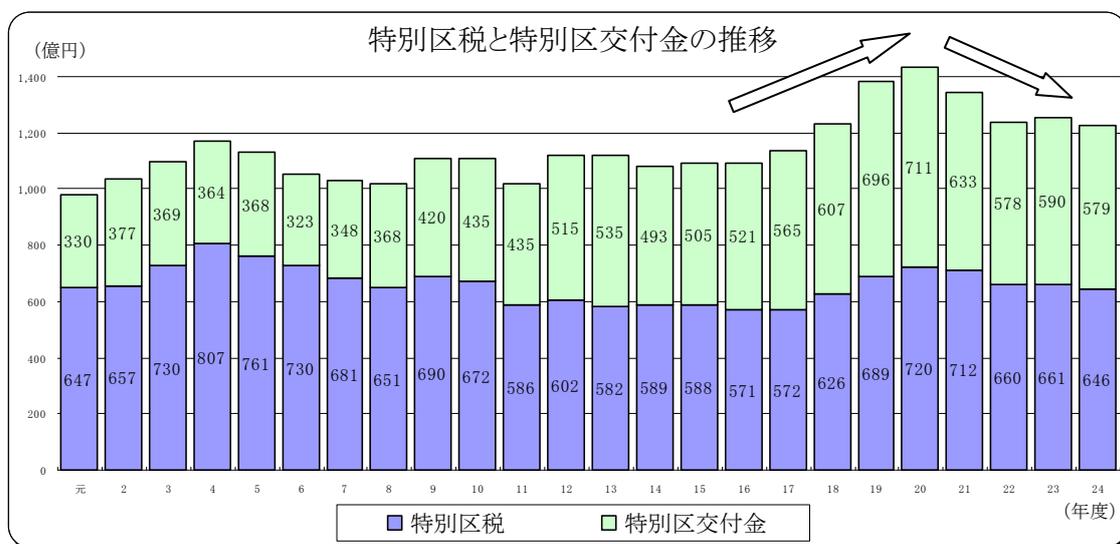
4 歳入の状況（一般会計）

- 特別区税は、特別区民税の減収や特別区たばこ税の微増を見込んだ結果、前年度比 2.2%減の 646 億円となりました。
- 特別区交付金（都区財政調整交付金）は、前年度比 1.9%減の 579 億円となりました。海外景気の下振れや電力供給の制約、原子力災害、デフレの影響、雇用情勢の悪化などの懸念材料があり、財政環境の大きな改善は見込めない状況にあります。
- 国庫支出金は、生活保護費負担金や障害者自立支援給付費負担金が増えた影響などにより、前年度比 4.2%増の 426 億円を計上しています。
- 特別区債は、小学校の改築や大岡山駅周辺地区の整備などに活用するため 59 億円を計上しました。

【歳入の状況】

（単位：億円、%）

区 分	24 年度	23 年度当初	増減額	増減率
特 別 区 税	646	661	△15	△2.2
特 別 区 交 付 金	579	590	△11	△1.9
使用料及び手数料	68	69	△1	△0.9
国 庫 支 出 金	426	409	17	4.2
都 支 出 金	116	110	6	5.6
特 別 区 債	59	38	21	55.3
そ の 他	369	432	△62	△14.4
合 計	2,264	2,309	△44	△1.9



※各年度とも当初予算額です。

5-1 歳出の状況（一般会計 性質別）

- 義務的経費は、5億円の減となっています。
 - 人件費は、職員定数削減や給料の減額改定などにより全体で2.4%、11億円の減となっています。
 - 扶助費は、生活保護世帯の増加などを反映して1.9%、12億円の増となっています。
 - 公債費は、主に償還期限を迎える特別区債償還のための経費です。6.4%、6億円の減となっています。

- 投資的経費は、30億円の減となっています。

安全・安心な活力ある都市を未来へ贈るため、校舎の改築や、道路や橋りょうの維持補修・耐震化といった都市基盤施設の長寿命化などを進めます。

一方で、大田区総合体育館、萩中集会所などが竣工したことに伴い、全体で30億円の減を見込んでいます。

- その他の経費は、9億円の減となっています。

医療や介護など社会保障給付に伴う特別会計への繰出金が19億円の増となる一方、全庁をあげて徹底した経費削減に努めた結果、1.1%、9億円の減を実現しました。

【性質別歳出の状況】

（単位：億円、%）

区 分	24年度	23年度当初	増減額	増減率
義務的経費	1,230	1,235	△5	△0.4
人件費	459	471	△11	△2.4
扶助費	679	666	12	1.9
公債費	91	98	△6	△6.4
投資的経費	229	259	△30	△11.6
その他の経費	806	815	△9	△1.1
他会計繰出金	222	203	19	9.2
他会計繰出金以外	584	612	△28	△4.6
合計	2,264	2,309	△44	△1.9

5-2 歳出の状況（一般会計 目的別）

- 地域の振興を、地域力を活かして向上していく予算として 78 億円を計上しました。地域の発展に重要な役割を担う自治会・町会への助成や、消費者生活相談、防災市民組織・消火隊への助成を含む防災対策など、多岐にわたる内容となっています。
- 福祉と保健の予算は、前年度比 1.5%、18 億円の増となっています。主な要因は、生活保護費、保育園入所者運営費など、扶助費の増となっています。
- 教育とスポーツの予算は、前年度比 14.5%、36 億円の減となっています。スポーツ健康都市宣言事業などに取り組む一方で、大田区総合体育館竣工に伴う建設経費が減となったことなどが主な要因です。
- 区政の運営の予算は、職員人件費や情報システム関係経費など内部努力を徹底することで、前年度比 13.1%、33 億円減を実現し、区民サービスに必要な財源に、振り向けるよう努めました。

【目的別歳出の状況】

（単位：億円、%）

区 分	24 年度		23 年度当初		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
地 域 の 振 興	78	3.5	83	3.6	△5	△5.8
福 祉 と 保 健	1,266	55.9	1,248	54.0	18	1.5
産 業 と 観 光	33	1.5	33	1.4	1	1.6
ま ち づ く り	269	11.9	245	10.6	23	9.5
環 境 と 清 掃	98	4.3	104	4.5	△6	△6.2
教 育 と ス ポ ー ツ	213	9.4	250	10.8	△36	△14.5
区 政 の 運 営	215	9.5	248	10.7	△33	△13.1
区 債 の 償 還	91	4.0	98	4.2	△6	△6.4
合 計	2,264	100.0	2,309	100.0	△44	△1.9

6 特別会計予算の特徴

○ 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業は、国民健康保険加入者から保険料を徴収し、医療費や出産育児一時金などの支払い、後期高齢者支援金や介護納付金などの納付等を行っています。生活習慣病の予防や早期発見につながるよう、特定健康診査及び特定保健指導について、より受診しやすい工夫や一層のPRに努めています。医療費の増加などに伴い、前年度比9.1%増となっています。

○ 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、75歳以上の高齢者への適切な医療の確保を図るため、平成20年度から創設されています。区は、保険料の徴収や広域連合への医療費の納付などを行っています。保険料率は2年ごとに改定されます。高齢者人口、医療費の増加などに伴い、前年度比11.2%増となっています。

○ 介護保険特別会計

介護保険料の徴収や介護報酬の支払いを行うほか、介護予防事業にも積極的に取り組みます。65歳以上の高齢者人口や要介護認定者数が増加していることから、保険給付費や地域支援事業費が増加し、前年度比4.3%増となっています。

【特別会計】

(単位：億円、%)

区 分	24年度	23年度当初	増減額	増減率
国民健康保険事業	727	666	61	9.1
後期高齢者医療	138	124	14	11.2
介護保険	426	409	18	4.3
合 計	1,291	1,199	92	7.7

7 基金の状況

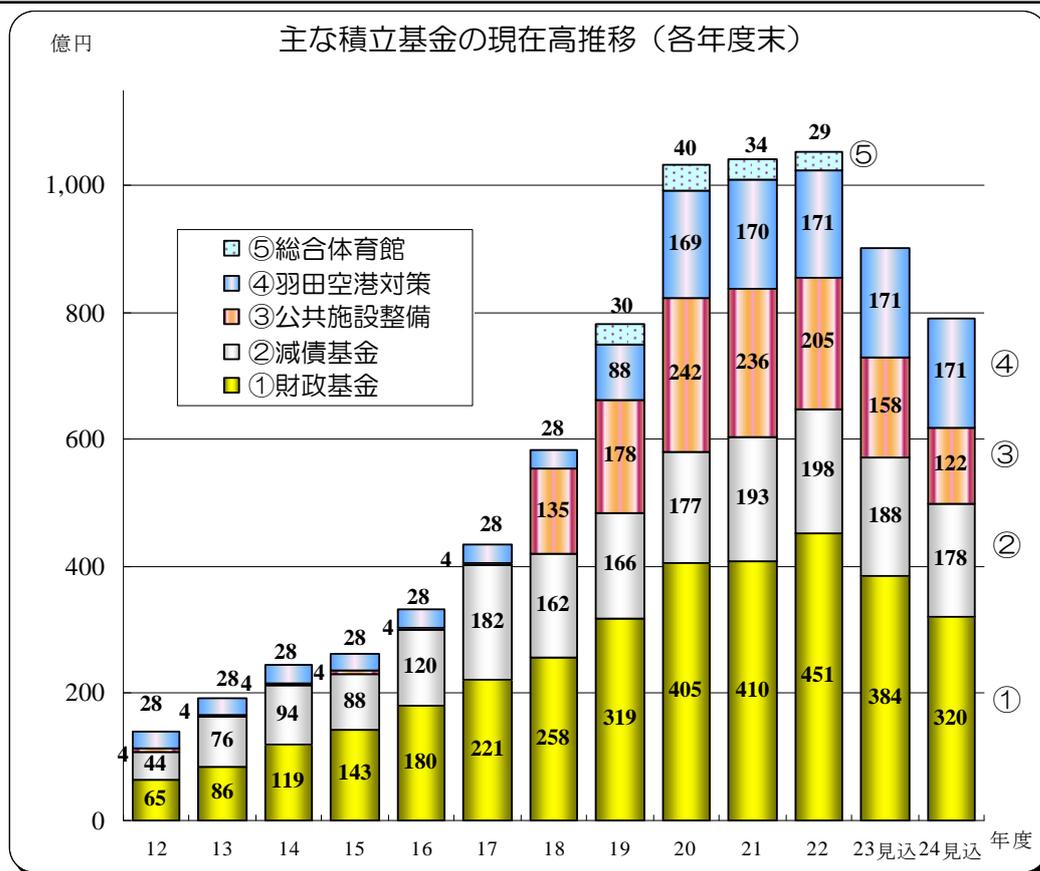
基金には、「年度間に差のある税収等の影響を最小限に抑えつつ、質の高い行政サービスを安定的に提供する」という重要な財源調整機能があります。平成24年度末の主な積立基金現在高見込みの合計は791億円で、同時点の区債現在高見込み489億円を大きく上回っており、区財政は健全性を維持しているといえます。

○ 公共施設整備基金

老朽化した施設の更新には多額の経費が見込まれることから、計画的に事業へ充当します。

○ 減債基金

原則として、満期に一括で返済する特別区債の元金を準備し、また、将来の公債費に充てる財源とするため、借入期間に対応した額を毎年度積み立てています。



区 分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度見込	24年度見込
主な積立基金現在高合計 A	141	194	245	263	332	435	583	781	1,033	1,043	1,054	901	791
① 財政基金	65	86	119	143	180	221	258	319	405	410	451	384	320
② 減債基金	44	76	94	88	120	162	166	177	193	198	188	178	178
③ 公共施設整備	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
④ 羽田空港対策	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
⑤ 総合体育館									30	40	34	29	—
特別区債現在高 B	1,299	1,257	1,183	1,113	1,058	939	804	698	636	600	547	511	489
基金現在高－区債現在高 A-B	△1,158	△1,063	△938	△850	△726	△504	△221	83	397	443	507	390	302

※基金現在高は年度末3月31日現在の数字に、出納整理期間の増減を反映しています。

8 大田区の経営改善

- 平成21年度から23年度までを計画期間とした「大田行政経営プラン」により、事務事業の見直しや民間委託の推進など、行政の経営改善に努めてきました。
- 行政改革を不断に進め、より効率的で効果的な行財政運営を目指すため、現在、平成24年度から3か年計画とした後継プランの策定を進めています。

◇「大田行政経営プラン」(平成21～23年度)の概要

I 行政資源の有効活用による的確な区民サービスの提供

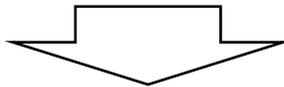
- 1 事務事業見直し(「事業仕分け」的手法による事務事業の総点検、職員定数の適正化等)
- 2 民間等のノウハウの活用(民間委託の検証及び適切な活用の推進、外郭団体の改革推進等)
- 3 新たな業務手法の取組み(窓口サービスの拡充、新たな財源確保策等の検討及び推進等)

II 区民との連携による地域力の向上

- 1 区民参画の拡大と地域との連携(区民意見公募手続制度の推進、地域力推進会議の活動支援等)
- 2 区政の透明性の向上(行政情報公開の推進、新たな行政評価制度の実施及び公表等)

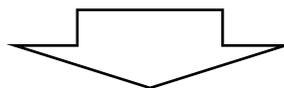
III 職員力の発揮による組織の活性化

- 1 人材育成の推進(人材育成基本方針の改訂、職員提案制度の普及推進等)
- 2 能力開発・能力活用型職員配置の推進(職員配置の弾力的運用の検討等)
- 3 多様な任用形態の活用(経験者採用職員等のスキルの活用、再任用・再雇用の活用の検討等)



◇「大田行政経営プラン」(平成21～23年度の主な取り組み)

- 「大田区における事務事業の検証・評価に関する基本方針」に基づく事務事業評価の実施
- 大田区職員定数基本計画(平成23年度～平成25年度)の策定及び計画の実施
- 指定管理者モニタリング委員会の実施及びモニタリング制度の充実
- 大田区外郭団体改革プランの策定及び実施
- 大田区窓口サービス改善計画の策定及び実施
- 「人材育成基本方針」(平成22年1月改訂)に基づく人材育成の推進
- 区政サポーター制度の実施
- 区のホームページのバナー広告による新たな財源の確保



◇「後継プラン」(平成24～26年度)の策定

平成24年度 一般会計予算（案）集計表

(1) 歳入(款別)

(単位:千円、%)

款		24年度		23年度当初		前年度比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1	特別区税	64,645,878	28.5	66,123,222	28.6	△ 1,477,344	△ 2.2
	うち特別区民税	59,933,282	26.5	61,449,738	26.6	△ 1,516,456	△ 2.5
	うち特別区たばこ税	4,482,686	2.0	4,447,032	1.9	35,654	0.8
2	地方譲与税	1,706,001	0.8	1,863,001	0.8	△ 157,000	△ 8.4
3	利子割交付金	768,000	0.3	730,000	0.3	38,000	5.2
4	配当割交付金	315,000	0.1	239,000	0.1	76,000	31.8
5	株式等譲渡所得割交付金	185,000	0.1	131,000	0.1	54,000	41.2
6	地方消費税交付金	7,580,000	3.3	7,146,000	3.1	434,000	6.1
7	自動車取得税交付金	418,001	0.2	454,001	0.2	△ 36,000	△ 7.9
8	地方特例交付金	660,000	0.3	1,020,399	0.4	△ 360,399	△ 35.3
9	特別区交付金	57,924,000	25.6	59,031,200	25.6	△ 1,107,200	△ 1.9
10	交通安全対策特別交付金	90,000	0.0	97,000	0.0	△ 7,000	△ 7.2
11	分担金及び負担金	3,593,513	1.6	3,566,246	1.5	27,267	0.8
12	使用料及び手数料	6,827,614	3.0	6,892,384	3.0	△ 64,770	△ 0.9
13	国庫支出金	42,599,966	18.8	40,885,339	17.7	1,714,627	4.2
14	都支出金	11,630,725	5.1	11,015,406	4.8	615,319	5.6
15	財産収入	848,975	0.4	453,826	0.2	395,149	87.1
16	寄附金	266,644	0.1	273,245	0.1	△ 6,601	△ 2.4
17	繰入金	12,652,692	5.6	16,419,868	7.1	△ 3,767,176	△ 22.9
18	繰越金	2,000,000	0.9	2,000,000	0.9	0	0.0
19	諸収入	5,835,782	2.6	8,741,047	3.8	△ 2,905,265	△ 33.2
20	特別区債	5,900,000	2.6	3,800,000	1.6	2,100,000	55.3
合 計		226,447,791	100.0	230,882,184	100.0	△ 4,434,393	△ 1.9

(2) 歳出(款別)

(単位:千円、%)

款		24年度		23年度当初		前年度比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1	議 会 費	1,134,505	0.5	1,258,452	0.5	△123,947	△9.8
2	総 務 費	26,530,508	11.7	29,991,477	13.0	△3,460,969	△11.5
3	福 祉 費	119,241,994	52.7	117,265,688	50.8	1,976,306	1.7
4	衛 生 費	7,391,680	3.3	7,554,559	3.3	△162,879	△2.2
5	産業経済費	3,327,160	1.5	3,273,453	1.4	53,707	1.6
6	土 木 費	14,368,675	6.3	15,423,533	6.7	△1,054,858	△6.8
7	都市整備費	12,485,752	5.5	9,099,479	3.9	3,386,273	37.2
8	環境清掃費	9,787,366	4.3	10,434,351	4.5	△646,985	△6.2
9	教 育 費	21,344,810	9.4	24,961,453	10.8	△3,616,643	△14.5
10	公 債 費	9,141,099	4.0	9,770,687	4.2	△629,588	△6.4
11	諸 支 出 金	1,494,242	0.7	1,649,052	0.7	△154,810	△9.4
12	予 備 費	200,000	0.1	200,000	0.1	0	0.0
合 計		226,447,791	100.0	230,882,184	100.0	△4,434,393	△1.9

10 事業説明資料

- | | |
|---------------|-------------|
| (1) 健康・福祉・医療 | P.22 ~ P.32 |
| (2) 子育て・教育 | P.33 ~ P.41 |
| (3) 安全・安心 | P.43 ~ P.56 |
| (4) 産業・環境 | P.57 ~ P.69 |
| (5) 観光・文化 | P.70 ~ P.74 |
| (6) 魅力あるまちづくり | P.75 ~ P.86 |

※ 金額は、表示単位未満を四捨五入していますので、「事業概要」欄の金額の合計と「予算額」欄の数値は一致しない場合があります。

※  地域力に関する事業には、このマークを表示しています。

※  国際都市をめざす事業には、このマークを表示しています。

※ 新規 新規事業を含む事業には、このマークを表示しています。

【1】健康・福祉・医療（1）

事業名	 スポーツ健康都市宣言記念事業 新規																																										
予算額	1, 239万円																																										
事業のねらい	<p>スポーツ健康都市宣言記念事業の実施により、区民のスポーツ実施率の向上とそれに伴う健康増進のほか、仲間づくり、地域づくりを進めます。これにより「スポーツ健康都市おおた」にふさわしいまちづくりをめざします。</p>																																										
事業概要	<p>区民の誰もがスポーツや軽い運動を身近に行うことで健康を維持し、地域の絆を深めることを目的として、平成24年6月30日（土）の大田区総合体育館の開館に合わせて「スポーツ健康都市宣言」を行います。</p> <p>平成24年度はこの宣言を記念し、区民のスポーツや健康に対する意識を高めるきっかけづくりとなる事業を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大田スポーツサミット 2012（平成24年5月19日） <p>スポーツを身近に気軽にできる環境を整備するとともに、地域の活性化をめざす「まちづくり」のツールとしてスポーツを育てていくためには何をなすべきなのか？自治体トップ、企業チーム・プロスポーツ経営者、地域スポーツクラブ等の事例発表、シンポジウムを開催し、これからの大田区のスポーツについて考えます。</p> 2 スポーツ健康都市宣言イベント（平成24年6月24日） <p>健康づくりに関する講演会、がん予防対策キャンペーンや様々なブースにおいて健康づくりに関するPRを行い、宣言についての区民周知を図るとともに、区民の健康づくり活動に対する関心を高めます。</p> 3 区民スポーツまつり（平成24年10月8日） <p>体育の日に、区民の身近な場所でイベントを開催することで、気軽にスポーツに親しむ機会を提供します。</p> 4 （仮称）OTAウォーキング（平成24年11月頃） <p>歩くことは、どなたでも、また一人でも、仲間とでも行える身近な運動です。区内を歩くことにより、健康の増進、仲間づくり、地域を知ること等の相乗効果を図ります。</p> 																																										
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="5">教育総務部 社会教育課 ・ 保健所 健康づくり課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>（上記1, 3, 4）</td> <td>社会教育課長</td> <td>木田</td> <td>早苗</td> <td>電話</td> <td>5744-1446</td> </tr> <tr> <td>（上記2）</td> <td>健康づくり課長</td> <td>杉村</td> <td>由美</td> <td>電話</td> <td>5744-1660</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>（上記1, 3, 4）</td> <td>古野</td> <td>親子</td> <td>電話</td> <td colspan="2">5744-1441</td> </tr> <tr> <td>（上記2）</td> <td>安藤</td> <td>達也</td> <td>電話</td> <td colspan="2">5744-1661</td> </tr> </table>	担当課	教育総務部 社会教育課 ・ 保健所 健康づくり課					課長氏名						（上記1, 3, 4）	社会教育課長	木田	早苗	電話	5744-1446	（上記2）	健康づくり課長	杉村	由美	電話	5744-1660	担当者氏名						（上記1, 3, 4）	古野	親子	電話	5744-1441		（上記2）	安藤	達也	電話	5744-1661	
担当課	教育総務部 社会教育課 ・ 保健所 健康づくり課																																										
課長氏名																																											
（上記1, 3, 4）	社会教育課長	木田	早苗	電話	5744-1446																																						
（上記2）	健康づくり課長	杉村	由美	電話	5744-1660																																						
担当者氏名																																											
（上記1, 3, 4）	古野	親子	電話	5744-1441																																							
（上記2）	安藤	達也	電話	5744-1661																																							

【1】健康・福祉・医療（2）

事業名	 大田区総合体育館の開館 新規												
予算額	3億4,561万円												
事業のねらい	<p>区民がスポーツを「する」楽しみに加え、トップアスリートの試合を身近な場所で「みる」ことができる施設となるよう、観客席を約4,000席整備し、国際化した羽田空港からの地の利を活かして、国際試合や全国大会等を誘致・開催します。</p>												
事業概要	<p>1 新体育館の開館 新体育館は平成24年6月30日（土）に開館します。開館当日のセレモニーでは、スポーツ健康都市宣言を行う予定です。 管理運営は、指定管理者が行い、民間事業者のノウハウを活用し、区民サービスの向上と施設の効率的な管理運営を図ります。</p> <p>2 新体育館の概要 新体育館は、メインアリーナ（約38m×48m、バレーボール3面分又はバスケットボール2面分）、サブアリーナ（約21m×34m、バスケットボール1面分又は柔剣道場2面分）、体育室及び会議室等を備えています。 新体育館では、トップリーグの試合や全日本レベルの大会等トップレベルの試合・大会を開催します。 また、メインアリーナ等の貸出しだけでなく、様々なプログラムのスポーツ教室を開催する等、区民が気軽にスポーツに親しめる場を設けます。</p>												
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">教育総務部 社会教育課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>木田 早苗</td> <td>電話</td> <td>5744-1446</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>吉田 友美</td> <td>電話</td> <td>5744-1448</td> </tr> </table>	担当課	教育総務部 社会教育課			課長氏名	木田 早苗	電話	5744-1446	担当者氏名	吉田 友美	電話	5744-1448
担当課	教育総務部 社会教育課												
課長氏名	木田 早苗	電話	5744-1446										
担当者氏名	吉田 友美	電話	5744-1448										

【1】健康・福祉・医療（3）

<p>事業名</p>	<p>スポーツ祭東京 2013 リハーサル大会の開催 新規</p>						
<p>予算額</p>	<p>8, 1 1 2 万円</p>						
<p>事業のねらい</p>	<p>東京都で 54 年ぶりに国体「スポーツ祭東京 2013（第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会）」が開かれます。このリハーサル大会を開催し、平成 25 年度の本大会へ向けた準備を進めます。</p>						
<p>事業概要</p>	<p>平成 25 年に開催されるスポーツ祭東京 2013 において、大田区ではカヌー（スプリント）競技を行います。</p> <p>平成 24 年度はリハーサル大会（関東ブロック大会を兼ねる）を開催し、1 都 7 県の選手により、カヌーカヤックとカナディアン の 2 種類の競技を行い、平成 24 年岐阜国体の参加選手を決定します。</p> <p>1 大会日程 リハーサル大会 平成 24 年 7 月 15 日 （選手、役員他 約 400 名） 本大会 平成 25 年 10 月 4 日～7 日（選手、役員他約 1,700 名）</p> <p>2 正式種目 カヌー（スプリント）</p> <p>3 会場 京浜南運河（京浜島つばさ公園）に特設カヌー競技場を仮設して行います。</p> <p>4 デモンストレーションとしてのスポーツ行事 （1）ゲートボール（大田スタジアム） 平成 25 年 9 月 15 日 （2）ドッジボール（大田区総合体育館）平成 25 年 9 月 16 日 （3）ハング・パラグライダー（多摩川緑地区民広場） 平成 25 年 9 月 7 日（予備日 9 月 8 日）</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: right;">マスコットキャラクター 愛称：ゆりーと</p>						
<p>問合せ先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td>教育総務部 社会教育課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>木田 早苗 電話 5 7 4 4 - 1 4 4 6</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>古野 親子 電話 5 7 4 4 - 1 4 4 1</td> </tr> </table>	担当課	教育総務部 社会教育課	課長氏名	木田 早苗 電話 5 7 4 4 - 1 4 4 6	担当者氏名	古野 親子 電話 5 7 4 4 - 1 4 4 1
担当課	教育総務部 社会教育課						
課長氏名	木田 早苗 電話 5 7 4 4 - 1 4 4 6						
担当者氏名	古野 親子 電話 5 7 4 4 - 1 4 4 1						

【1】健康・福祉・医療（4）

事業名	 高齢者見守り体制の充実 新規												
予算額	6億3,139万円												
事業のねらい	さわやかサポート（地域包括支援センター）を核として、地域の方と連携した高齢者を見守る体制を整備し、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めます。												
事業概要	<p>高齢者の見守りのため、新たな地域連携の仕組みを構築します。</p> <p>1 さわやかサポート（地域包括支援センター）の機能強化 1億4,240万円</p> <p>(1) 高齢者見守りコーディネーターの配置 1億513万円</p> <p>さわやかサポートに、高齢者見守りコーディネーターを配置します。</p> <p>主な業務内容は、継続的な地域とのネットワークづくりと、支援が必要な高齢者を把握するための訪問調査等です。自治会・町会や商店、民生委員や福祉・医療の専門職からの情報を、さわやかサポートに集約し、福祉サービスを提供できる体制を整備します。</p> <p>(2) 行政情報参照システムの開発・導入 3,727万円</p> <p>区が保有する行政情報をさわやかサポートで、リアルタイムに参照できるシステムを、開発・導入します。</p> <p>システム導入後、さわやかサポートでは、高齢者の相談支援等で必要な情報を迅速に得ることが可能となり、所要時間の短縮等、区民サービスの向上につなげます。</p> <p>2 さわやかサポートの運営 4億7,949万円</p> <p>3 高齢者見守りネットワークの構築 950万円</p> <p>65歳以上の全ての高齢者を対象とした、高齢者見守りキーホルダー登録事業を開始します。</p> <p>この事業では、住所・氏名・緊急連絡先・かかりつけ医等の情報を、さわやかサポートに登録することで、外出時や自宅での緊急時に、迅速・的確な情報提供を行うことができます。このキーホルダー登録事業とともに高齢者の危険なサインを早期に発見するための見守りチェック表を活用し、区と地域が連携した見守りを進めます。</p> <p>※キーホルダー登録事業は、「地域力応援基金助成事業」で、初めてジャンプアップ助成の交付を受け実施した団体の事業で、その成果を、区の見守り体制に活かすものです。</p>												
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">福祉部 高齢事業課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>横山 庸子</td> <td>電話</td> <td>5744-1255</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>中川 久美・内山 猛</td> <td>電話</td> <td>5744-1252</td> </tr> </table>	担当課	福祉部 高齢事業課			課長氏名	横山 庸子	電話	5744-1255	担当者氏名	中川 久美・内山 猛	電話	5744-1252
担当課	福祉部 高齢事業課												
課長氏名	横山 庸子	電話	5744-1255										
担当者氏名	中川 久美・内山 猛	電話	5744-1252										

【1】健康・福祉・医療（5）

事業名	 高齢者就労支援事業												
予算額	2,485万円												
事業のねらい	<p>高齢者がいきいきと暮らせるまちをめざして、元気高齢者に就労や社会参加活動等に関する情報提供等を行い、高齢者が経験や知識、技能等を活かして、地域における様々な活動に取り組めるように支援します。</p>												
事業概要	<p>平成24年2月1日に「大田区高齢者等就労・社会参加支援センター（愛称：大田区 いきいき しごと ステーション）」がオープンしました。</p> <p>このセンターでは、就労を希望する方に対して、無料で職業紹介を行うとともに、有償ボランティアや様々な地域活動等に関する相談や情報提供を行っています。</p> <p>平成24年度からは、現在行っている窓口における相談、紹介業務に加えて、東京しごと財団やシルバー人材センター等との連携によるセミナーや面接会等を開催し、支援メニューの充実を図ります。</p> <p>以上の支援事業を通じて、元気な高齢者に就労から社会参加活動まで、幅広く情報提供を行い、高齢者本人の生きがいや健康増進に寄与することに加えて、高齢者の活躍による地域産業や地域コミュニティ等の活性化の効果も期待しています。</p> <p>区では、運営主体に助成し、事業進捗に対する支援、助言等を行うとともに、関係機関に対して、事業への協力等の働きかけを行います。</p> <p>1 利用対象 概ね55歳以上の方</p> <p>2 主な業務 就労や技能習得・社会参加等に関する相談、紹介、支援</p> <p>3 開設時間 月～金曜日 午前9時から午後5時 (年末年始、休日等は除く)</p> <p>4 所在地 大田区西蒲田7-49-2 大田区社会福祉センター 7階</p> <p>5 電話番号 03-5713-3600</p> <p>6 運営主体 大田区社会福祉協議会（専任職員5人）</p>												
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">福祉部 高齢事業課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>横山 庸子</td> <td>電話</td> <td>5744-1255</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>臼井 正一</td> <td>電話</td> <td>5744-1252</td> </tr> </table>	担当課	福祉部 高齢事業課			課長氏名	横山 庸子	電話	5744-1255	担当者氏名	臼井 正一	電話	5744-1252
担当課	福祉部 高齢事業課												
課長氏名	横山 庸子	電話	5744-1255										
担当者氏名	臼井 正一	電話	5744-1252										

【1】健康・福祉・医療（6）

<p>事業名</p>	<p>都市型軽費老人ホームの整備</p>
<p>予算額</p>	<p>2億4,000万円</p>
<p>事業の ねらい</p>	<p>都市型軽費老人ホームは、用地確保が困難な都市部において、身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことについて不安がある低所得の高齢者が、低額な料金で入所できることを目的としたケア付きすまいです。 民間事業者の参入を支援するため、国交付金と都補助金を活用した施設整備について助成を行い、平成23年度に引き続き、整備促進を図ります。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 整備概要（予定）</p> <p>(1) 定員 20人規模</p> <p>(2) 主な利用条件 60歳以上で大田区に住民登録している低所得の方</p> <p>(3) 施設数 4施設</p> <p>(4) 場 所 大田区内</p> <p>(5) 開 設 平成24～25年度</p> <p>(6) 整備事業者 公募による</p> <p>2 助成額</p> <p>施設整備費助成 定員1人あたり300万円 (運営する事業者が新たに建物を新築又は既存建築物を買取り、改修して整備する場合の金額です。)</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 福祉部 高齢計画課</p>
	<p>課長氏名 中原 賢一 電話 5744-1266</p>
	<p>担当者氏名 廣田 佳子 電話 5744-1637</p>

【1】健康・福祉・医療（7）

<p>事業名</p>	<p>☺☺☺（仮称）障がい者総合サポートセンターの設置・建設 新規</p>
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">4,768万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>障がいのある人の生活を総合的にサポートする「拠点」として相談支援や就労支援、地域交流支援等の機能を設置し、効果を発揮します。</p> <p>そして、障がいのある人が、サービスを受けるばかりでなく、地域における問題点を主体的に解決するための“発信者”となる「拠点」づくりをめざします。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 建設の概要</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 予定地 中央四丁目 30 番</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 敷地面積 約 1,200 m²（予定）</p> <p style="margin-left: 40px;">延床面積 約 3,000 m²（予定）</p> <p>2 運営に関する検討会等 143 万円</p> <p style="margin-left: 20px;">（仮称）障がい者総合サポートセンターの設置に向け、事業の運営等に関する検討会参加者への報償費及び区民の方へ周知する資料作成のための経費です。</p> <p>3 基本設計及び実施設計 4,625 万円</p> <p style="margin-left: 20px;">障がい者の声を十分に取り入れ、ユニバーサルデザインにも考慮して、安全・安心にご利用いただける施設とします。</p> <p><今後のスケジュール></p> <p style="margin-left: 20px;">平成 24 年度 基本設計・実施設計</p> <p style="margin-left: 20px;">平成 25 年度 工事</p> <p style="margin-left: 20px;">平成 26 年度 竣工予定</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 福祉部 障害福祉課</p>
	<p>課長氏名 今岡 正道 電話 5 7 4 4 - 1 6 8 6</p>
	<p>担当者氏名 斉藤 禄美 電話 5 7 4 4 - 1 7 0 0</p>

【1】健康・福祉・医療（8）

事業名	  ユニバーサルデザインのまちづくり事業
予算額	1億6,843万円
事業のねらい	大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針に基づき、区民、事業者、地域の関係団体等と協働でユニバーサルデザインのまちの実現に向けた取り組みを推進します。
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議等 86万円 区民、事業者、地域の関係団体、学識者、区職員等で構成。まちづくりに対する意見、評価等を行います。 2 ユニバーサルデザイン（UD）モデル事業 1億6,556万円 東京都の「ユニバーサルデザイン福祉のまちづくり事業」の指定地区となった山王、馬込、池上地区において、ユニバーサルデザインのまちづくりモデル事業を推進します。（福祉部、都市基盤整備部共同事業） <ol style="list-style-type: none"> (1) ユニバーサルデザインまちづくりパートナーによる合同点検 (福祉・都市基盤) (2) モデル地区内総合学習支援 (福祉) (3) 本門寺公園整備（設計・工事） (都市基盤) (4) 池上梅園整備（設計・工事） (都市基盤) (5) 新井宿第一児童公園整備（設計） (都市基盤) (6) 桜のプロムナード整備（設計・工事） (都市基盤) ※2(3)(4)は P.82 に再掲。2(6)は P.81 に再掲。 ※UD：ユニバーサルデザインの略称 3 ユニバーサルデザインまちづくりパートナー（UDモデル事業除く） 43万円 まちづくりに関心のある区民が事前に登録。区内の施設、公園、道路、サービス等をユニバーサルデザインの視点で点検します。 4 総合的な学習の時間の支援等（UDモデル事業除く） 159万円 小・中学校における総合的な学習の時間に福祉体験活動を通じて、障がい者に対する関心や理解を深めます。
問合せ先	担当課 福祉部 福祉管理課
	課長氏名 田中 教彦 電話 5744-1241
	担当者氏名 立花 博一 電話 5744-1244
	担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課
	課長氏名 河野 秀夫 電話 5744-1689
	担当者氏名 渡部 正美 電話 5744-1304

事業名	 街なか“すいすい”プランの策定 新規
予算額	463万円
事業のねらい	<p>高齢者や障がい者が安心して円滑な移動等ができるよう、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」に基づき、重点的に整備する地区を選定して計画を定めることで、今までの点的な整備から面的なバリアフリー化の整備を進めます。</p>
事業概要	<p>平成23年度は、</p> <p>① バリアフリー新法に基づく基本方針「おおた街なか“すいすい”ビジョン」を策定して、重点整備地区を蒲田駅周辺地域と大森駅周辺地域と決めました。</p> <p>② 重点整備地区推進計画「かまた街なか“すいすい”プラン」を策定しました。</p> <p>平成24年度は、</p> <p>① 「かまた街なか“すいすい”プラン」に基づき、事業実施計画に当たる特定事業計画を策定します。</p> <p>② 大森地区の重点整備地区推進計画「おおもり街なか“すいすい”プラン」を策定します。</p> <p>1 推進協議会 高齢者団体や障がい者団体の代表者を始め、区民、鉄道事業者及び交通事業者等の関係者により構成します。 蒲田地区の特定事業計画の検討と「おおもり街なか“すいすい”プラン」の策定等について協議します（年4回開催）。</p> <p>2 区民部会 蒲田、大森のそれぞれの地区において、高齢者団体や障がい者団体の代表、地域住民や商業者団体の代表等により構成します。蒲田はプランの進行管理、大森はプラン作成のための検討を行います。</p> <p>3 区民点検会 重要な生活関連施設と、その施設を結ぶ道路の一体的な整備のための点検を行い、問題点を抽出します。</p> <p>4 施設点検会 生活関連施設の個別点検を行い、バリアフリー化推進のための問題点を抽出します。</p>
問合せ先	担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課
	課長氏名 伊藤 廉 電話 5744-1331
	担当者氏名 田口 信夫 電話 5744-1303

事業名	 小児救急支援事業 新規
予算額	4,000万円
事業のねらい	<p>小児救急医療を維持継続していく区独自の支援事業です。</p> <p>区民が安心して生活できるよう小児の初期救急から二次・三次救急までの切れ目のない医療体制の整備事業を支援します。</p>
事業概要	<p>核家族化の進展により、保護者は子どもの急病に対して身近に相談できる人も少なく、小児救急医療機関を直接受診する子どもの数は増大傾向にあります。</p> <p>軽症者を診る地域の小児科診療所では、急変しやすい小児の患者に対して早急な診断・治療を求められることもあり、二次救急・三次救急との連携は欠かせないものとなっています。</p> <p>しかし、区内には中等症の小児の入院治療を行える二次救急病院は少なく、とりわけ生命の危機が切迫している重篤な患者に対応する救命救急センターを備えた三次医療機関であっても、比較的軽度の症状の患者が集中しています。そのため、疲弊した医師が小児救急の現場から離れていくこともあり、重症・重篤の患者への対応が難しくなっています。</p> <p>このように、高度な小児科医療を維持継続していく上で深刻な事態を招く恐れが出てきています。</p> <p>そこで、区内の医師会、小児科のある病院、薬剤師会と区が協働して、救急を含めた小児科医療を維持継続していくために、大田区小児救急整備構想を検討して次の事業に取り組むこととしました。</p> <p>① 医療体制の整備充実、②救急医療を担う医師の確保と育成、③区民意識の啓発（いわゆるコンビニ受診に代表される区民の受診行動の改善）。</p> <p>区ではこの事業に対し、平成24年度から3年間の緊急支援事業として、小児科医の雇用経費等、事業経費の一部を助成することとしました。</p> <p>○ 初期救急 主として自力で来院することができ、入院を必要としない比較的軽度の症状で、通常は診療所で治療できる範囲の救急医療。（軽症）</p> <p>○ 二次救急 診療所では対応できない手術や入院治療を必要とする症状で、救急指定病院等で対応する救急医療。（中等症）</p> <p>○ 三次救急 二次救急医療機関では対応できない複数の診療科領域にわたるなど、生命の危機が切迫している重篤な症状で、高度な医療を総合的に提供する医療機関で対応する救急医療。（重症・重篤）</p>
問合先	担当課 保健所 保健衛生課
	課長氏名 小田川 一雄 電話 5744-1261
	担当者氏名 鷺見 恵 電話 5744-1264

【1】健康・福祉・医療（11）

事業名	高齢者予防接種（肺炎球菌予防接種費用助成）
予算額	9,537万円
事業のねらい	高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用一部助成の対象者を拡大することで、接種者数を増やし、肺炎球菌による肺炎の発症を予防します。
事業概要	<p>肺炎の原因のひとつである肺炎球菌の感染予防のため、70歳以上の高齢者を対象として、任意予防接種である肺炎球菌ワクチンの予防接種費用を一部助成します。</p> <p>助成対象者は、平成23年度までは、70歳以上5歳刻みでしたが、平成24年度からは、70歳以上の方、全員を対象とします。</p> <p>1 対象者 平成24年度中に70歳以上となる高齢者</p> <p>2 助成額 4,000円（ひとり1回のみの接種）</p> <p>3 助成開始日 平成24年4月1日以降の接種</p>
問合先	担当課 保健所 保健衛生課
	課長氏名 小田川 一雄 電話 5744-1261
	担当者氏名 行武 修 電話 5744-1263

【2】子育て・教育（1）

事業名	待機児童対策の充実 新規																																							
予算額	15億827万円																																							
事業の ねらい	<p>保育園待機児童の解消を進めるため、保育サービス定員を320人増加します。</p> <p>(1) 老朽化している森が崎保育園を改築し、合わせて定員の拡充を行います。 また、六郷保育園改築のための実施設計を行います。</p> <p>(2) テナント型の認可保育所を新設するために、施設の改修費用の一部を助成します。</p> <p>(3) 多様な保育ニーズに応えるため、認証保育所の開設を支援します。</p>																																							
事業概要	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 85%;">保育園の改築</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">2億5,760万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(1) 森が崎保育園の改築 平成24年10月開園（予定）</td> <td style="text-align: right;">2億4,866万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 六郷保育園の改築（実施設計委託） 平成27年度開園（予定）</td> <td style="text-align: right;">894万円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>区立保育園定員拡充</td> <td style="text-align: right;">5,816万円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>民間保育所への開設費用等の助成（次世代育成支援緊急対策整備事業等）</td> <td style="text-align: right;">10億41万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(1) テナント型認可保育所新設補助（3施設）</td> <td style="text-align: right;">2億5,692万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 保育園入所者運営費（拡充分）</td> <td style="text-align: right;">5億2,138万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3) 民間保育所に対する法外援護（拡充分）</td> <td style="text-align: right;">2億2,211万円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>認証保育所開設支援（認証保育所運営費等補助事業等）</td> <td style="text-align: right;">1億8,195万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(1) 開設準備経費補助</td> <td style="text-align: right;">8,100万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 運営費補助（拡充分）</td> <td style="text-align: right;">8,979万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3) 保護者負担軽減補助（拡充分）</td> <td style="text-align: right;">1,116万円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>家庭福祉員拡充分（家庭福祉員制度経費）</td> <td style="text-align: right;">1,016万円</td> </tr> </table>	1	保育園の改築	2億5,760万円		(1) 森が崎保育園の改築 平成24年10月開園（予定）	2億4,866万円		(2) 六郷保育園の改築（実施設計委託） 平成27年度開園（予定）	894万円	2	区立保育園定員拡充	5,816万円	3	民間保育所への開設費用等の助成（次世代育成支援緊急対策整備事業等）	10億41万円		(1) テナント型認可保育所新設補助（3施設）	2億5,692万円		(2) 保育園入所者運営費（拡充分）	5億2,138万円		(3) 民間保育所に対する法外援護（拡充分）	2億2,211万円	4	認証保育所開設支援（認証保育所運営費等補助事業等）	1億8,195万円		(1) 開設準備経費補助	8,100万円		(2) 運営費補助（拡充分）	8,979万円		(3) 保護者負担軽減補助（拡充分）	1,116万円	5	家庭福祉員拡充分（家庭福祉員制度経費）	1,016万円
1	保育園の改築	2億5,760万円																																						
	(1) 森が崎保育園の改築 平成24年10月開園（予定）	2億4,866万円																																						
	(2) 六郷保育園の改築（実施設計委託） 平成27年度開園（予定）	894万円																																						
2	区立保育園定員拡充	5,816万円																																						
3	民間保育所への開設費用等の助成（次世代育成支援緊急対策整備事業等）	10億41万円																																						
	(1) テナント型認可保育所新設補助（3施設）	2億5,692万円																																						
	(2) 保育園入所者運営費（拡充分）	5億2,138万円																																						
	(3) 民間保育所に対する法外援護（拡充分）	2億2,211万円																																						
4	認証保育所開設支援（認証保育所運営費等補助事業等）	1億8,195万円																																						
	(1) 開設準備経費補助	8,100万円																																						
	(2) 運営費補助（拡充分）	8,979万円																																						
	(3) 保護者負担軽減補助（拡充分）	1,116万円																																						
5	家庭福祉員拡充分（家庭福祉員制度経費）	1,016万円																																						
問合先	担当課 こども家庭部 子育て支援課 保育サービス課																																							
	課長氏名																																							
	子育て支援課長 小泉 邦雄 電話 5744-1271 待機児担当副参事 市野 由香里 電話 5744-1641 保育サービス課長 薄根 幸 電話 5744-1276																																							
	担当者氏名 （上記1） 鈴木 勝巳 電話 5744-1642 （上記2～5） 田中 智秀 電話 5744-1277																																							

【2】子育て・教育（2）

<p>事業名</p>	<p>社会福祉センターでの一時預かり・定期利用保育事業への助成 新規</p>															
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">581万円</p>															
<p>事業のねらい</p>	<p>在宅子育て家庭への支援を目的とした短時間の保育サービスを提供します。 また、保護者の就労形態が多様化する中で、待機児童解消に向けた取り組みとして、パートタイム勤務等の利用者ニーズに対応した保育サービスを提供します。</p>															
<p>事業概要</p>	<p>1 実施事業 (1) 一時預かり事業 在宅で子育てをする家庭への支援を目的とした理由を問わない一時預かり事業 定員 10 人、生後 5 か月から就学前の乳幼児 (2) 定期利用保育事業 パートタイム勤務等利用者の保育需要に対応して、児童を一定程度継続的に保育する事業 定員 6 人、1 歳児から 2 歳児</p> <p>2 開設場所 大田区西蒲田七丁目 49 番 2 号 大田区社会福祉センター 1 階</p> <p>3 開設時期（予定） 平成 24 年 6 月 事業開始</p>															
<p>問合先</p>	<p>担当課 こども家庭部 子育て支援課 子ども家庭支援センター 保育サービス課</p> <p>課長氏名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">待機児担当副参事</td> <td style="width: 20%;">市野 由香里</td> <td style="width: 40%;">電話 5 7 4 4 - 1 6 4 1</td> </tr> <tr> <td>子ども家庭支援センター所長</td> <td>根本 勝司</td> <td>電話 3 7 6 3 - 0 1 8 8</td> </tr> <tr> <td>保育サービス課長</td> <td>薄根 幸</td> <td>電話 5 7 4 4 - 1 2 7 6</td> </tr> </table> <p>担当者氏名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">佐藤 京子</td> <td style="width: 10%;">電話</td> <td style="width: 60%;">5 7 5 3 - 1 1 5 3</td> </tr> <tr> <td>田中 智秀</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 2 7 7</td> </tr> </table>	待機児担当副参事	市野 由香里	電話 5 7 4 4 - 1 6 4 1	子ども家庭支援センター所長	根本 勝司	電話 3 7 6 3 - 0 1 8 8	保育サービス課長	薄根 幸	電話 5 7 4 4 - 1 2 7 6	佐藤 京子	電話	5 7 5 3 - 1 1 5 3	田中 智秀	電話	5 7 4 4 - 1 2 7 7
待機児担当副参事	市野 由香里	電話 5 7 4 4 - 1 6 4 1														
子ども家庭支援センター所長	根本 勝司	電話 3 7 6 3 - 0 1 8 8														
保育サービス課長	薄根 幸	電話 5 7 4 4 - 1 2 7 6														
佐藤 京子	電話	5 7 5 3 - 1 1 5 3														
田中 智秀	電話	5 7 4 4 - 1 2 7 7														

【2】子育て・教育（3）

<p>事業名</p>	<p>学校休業日の学童保育延長利用の開始 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p>1, 053万円</p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>小学校の春・夏・冬休み期間（土曜日を除く）についても、学童保育時間を午後6時まで延長することにより、子育て支援の充実を図ります。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>現在、学校休業日の学童保育時間は午後5時までとなっています。 女性の就労率が増加する中、学校休業日の学童保育時間の延長を求めるニーズが多く寄せられています。 子育て支援の充実を図るため、土曜日を除く学校休業日における学童保育時間を午後6時まで延長します。 実施にあたり、児童の安全管理を第一に職員体制を確保します。</p> <p>1 学校休業日における学童保育の時間 午前9時から午後5時までだった保育時間を午前9時から午後6時までに拡大します。</p> <p>2 実施施設 区立の学童保育施設</p> <p>3 実施時期 平成24年4月1日</p>												
<p>問合せ先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td style="width: 35%;">こども家庭部</td> <td style="width: 15%;">子育て支援課</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>小泉 邦雄</td> <td>電話</td> <td>5744-1271</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>新関 津義</td> <td>電話</td> <td>5744-1273</td> </tr> </table>	担当課	こども家庭部	子育て支援課		課長氏名	小泉 邦雄	電話	5744-1271	担当者氏名	新関 津義	電話	5744-1273
担当課	こども家庭部	子育て支援課											
課長氏名	小泉 邦雄	電話	5744-1271										
担当者氏名	新関 津義	電話	5744-1273										

【2】子育て・教育（4）

<p>事業名</p>	<p>児童虐待対策の強化</p>									
<p>予算額</p>	<p>251万円</p>									
<p>事業のねらい</p>	<p>子育て家庭や子ども自身の抱える課題が多様化するとともに、育児ストレスや家庭環境等が要因となる児童虐待相談が増加し続けています。要支援家庭の早期発見・早期支援に努め、特別な支援を必要とする家庭等へのサポートを強化します。</p>									
<p>事業概要</p>	<p>1 虐待通報専用ダイヤルの設置 虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときには、ためらわずに連絡相談ができるようにするための専用電話を設置します。</p> <p>2 子ども家庭相談員の増員 相談対応件数の増加を踏まえ、虐待の未然防止や早期発見・早期支援を充実させるために、非常勤職員を一人増員します。 支援を必要とする家庭への対応とともに、児童館・保育園等の施設支援も行うことによって、地域の関係機関との連携を強化し、相談機能を向上させます。</p>									
<p>問合先</p>	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>こども家庭部</td> <td>子ども家庭支援センター</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>根本 勝司</td> <td>電話 3763-0188</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>梅原 千晶</td> <td>電話 5753-7830</td> </tr> </table>	担当課	こども家庭部	子ども家庭支援センター	課長氏名	根本 勝司	電話 3763-0188	担当者氏名	梅原 千晶	電話 5753-7830
担当課	こども家庭部	子ども家庭支援センター								
課長氏名	根本 勝司	電話 3763-0188								
担当者氏名	梅原 千晶	電話 5753-7830								

【2】子育て・教育（5）

<p>事業名</p>	<p>こども発達センターわかばの家のサービスの充実 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>2億5,210万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>発達支援を必要とする乳幼児への療育を目的とした通園施設として、急増する利用児に対応するため、相談体制の充実を図るとともに訓練事業におけるサービスの一層の充実と質の向上を図ります。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 こども発達センターわかばの家事業運営 (1) 児童福祉法に基づく知的障害児通園施設 (2) 障害者自立支援法に基づく児童デイサービス ※平成24年4月1日以降は、児童福祉法に基づく (3) 心身障害児通所施設条例に基づく訓練事業 自由来館事業 外来訓練事業 子育てサロン事業</p> <p>2 相談事業や訓練事業のサービス充実 (1) 相談事業の充実を図り、早期療育を推進します。 (2) 個別外来訓練事業のサービス提供時間を次のとおりとします。 現行 10:00～16:00 平成24年度 10:00～17:00 (3) 土曜日に実施する訓練事業のメニューを拡充します。</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 こども家庭部 こども発達センターわかばの家 課長氏名 高橋 正志 電話 3757-7761 担当者氏名 飯島 厚子 電話 3757-7761</p>

【2】子育て・教育（6）

<p>事業名</p>	<p>小学生駅伝大会の実施 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p>50万円</p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>児童・生徒の体力向上に向けた様々な施策の成果をスポーツテストや駅伝大会等を通して確認し、学習等の意欲を喚起します。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>小学校全校において体力向上に向けた「一校一取組」が実践され、体育の授業、体育的な活動の充実が図られています。</p> <p>ランニングは生涯にわたって続けられるものであり、小学校段階から継続的に取り組むことによって、運動に親しむ資質・能力の向上、体力の向上が期待できます。</p> <p>「駅伝」は襷をつなぐ競技です。出場選手だけでなく選手を応援する学校全体としての絆や一体感が深まります。また、大田区は、正月恒例の箱根駅伝のコースにもなっており馴染みのある競技でもあります。</p> <p>区の体力向上事業の一環として、また、各小学校の体力向上の取り組みの成果を示す機会として、小学生駅伝大会を開催します。</p>												
<p>問合先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">教育総務部 指導課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>小黒 仁史</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 4 3 4</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>塩野 恵</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 4 3 5</td> </tr> </table>	担当課	教育総務部 指導課			課長氏名	小黒 仁史	電話	5 7 4 4 - 1 4 3 4	担当者氏名	塩野 恵	電話	5 7 4 4 - 1 4 3 5
担当課	教育総務部 指導課												
課長氏名	小黒 仁史	電話	5 7 4 4 - 1 4 3 4										
担当者氏名	塩野 恵	電話	5 7 4 4 - 1 4 3 5										

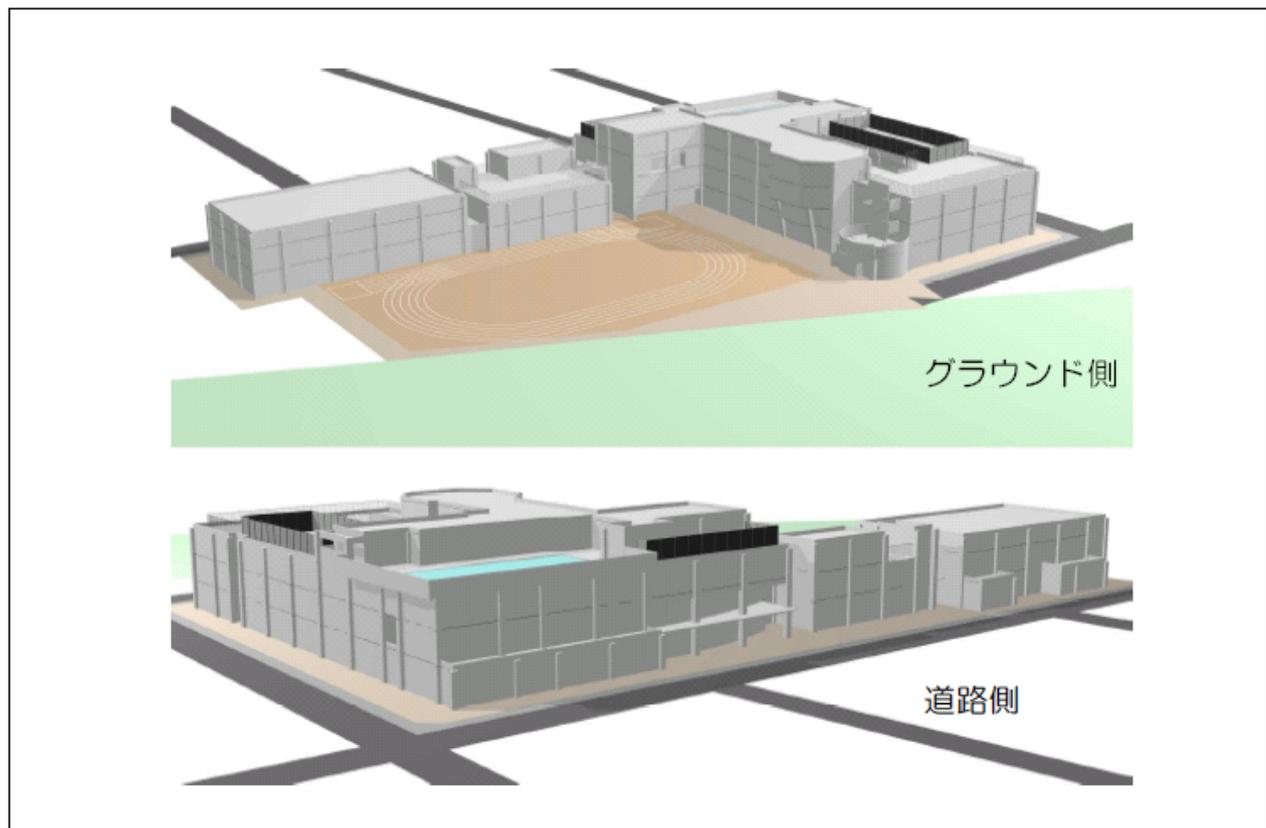
【2】子育て・教育（7）

<p>事業名</p>	<p>学校運営システムの運用管理</p>						
<p>予算額</p>	<p>3億3,801万円</p>						
<p>事業の ねらい</p>	<p>学校運営システムの導入は、教職員が本来の教育に専念し、子どもたちによりよい指導ができる体制整備を推進することを目的としています。システムにより校務事務を標準化・効率化することで教職員の事務作業の軽減を図り、子どもたちと向き合う時間を創出します。</p>						
<p>事業概要</p>	<p>教育委員会事務局と各学校をネットワークで結び情報を共有するとともに、校務支援ソフトウェアを導入して、学校の校務の効率化を図ります。あわせて、学校の情報セキュリティの更なる向上をめざします。</p> <p>学校運営システムは、平成23年度に構築を完了し、グループウェアの運用を開始しました。平成24年度は、小学校モデル校と全中学校で成績管理機能の活用を開始し、本格運用となります。システム環境について、良好な状態で使用できるよう、保守・運用を行います。</p> <p>ネットワーク拠点数：93か所 端末台数：約2,700台 利用者数：約3,000人 データセンターのサーバー数：26台</p>						
<p>問合先</p>	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>教育総務部 教育総務課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>教育事務改善担当課長 室内 正男 電話 5744-1425</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>宝田 衛 電話 5744-1696</td> </tr> </table>	担当課	教育総務部 教育総務課	課長氏名	教育事務改善担当課長 室内 正男 電話 5744-1425	担当者氏名	宝田 衛 電話 5744-1696
担当課	教育総務部 教育総務課						
課長氏名	教育事務改善担当課長 室内 正男 電話 5744-1425						
担当者氏名	宝田 衛 電話 5744-1696						

事業名	 校庭の芝生化（雪谷小学校） 新規																				
予算額	8,501万円																				
事業のねらい	<p>広い敷地を有する学校の校庭を活用し芝生化することで、ヒートアイランド対策とともに、児童の学習環境を整備し、環境教育の充実を図ります。</p>																				
事業概要	<p>1 新規工事 8,501万円 雪谷小学校 芝生面積 概ね 2,400 m²（予定） 設計委託 工事 備品購入等</p> <p>2 維持管理 芝刈り等の業務は、学校、PTA、自治会・町会等による維持管理組織が実施します。また、専門業者による定期点検・管理指導を行います。 平成 25 年度～ 182 万円</p> <p>《参考》</p> <table border="1" data-bbox="454 1160 1343 1406"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>施工年</th> <th>芝生面積</th> <th>年間委託費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新宿小</td> <td>19</td> <td>2,170 m²</td> <td>182 万円</td> </tr> <tr> <td>中富小</td> <td>20</td> <td>335 m²</td> <td>106 万円</td> </tr> <tr> <td>清水窪小</td> <td>20</td> <td>187 m²</td> <td>91 万円</td> </tr> <tr> <td>久原小</td> <td>23</td> <td>243 m²</td> <td>106 万円</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	施工年	芝生面積	年間委託費	新宿小	19	2,170 m ²	182 万円	中富小	20	335 m ²	106 万円	清水窪小	20	187 m ²	91 万円	久原小	23	243 m ²	106 万円
学校名	施工年	芝生面積	年間委託費																		
新宿小	19	2,170 m ²	182 万円																		
中富小	20	335 m ²	106 万円																		
清水窪小	20	187 m ²	91 万円																		
久原小	23	243 m ²	106 万円																		
問合先	<p>担当課 教育総務部 教育総務課</p> <p>課長氏名 施設担当課長 西野 正成 電話 5744-1430</p> <p>担当者氏名 (事務) 佐藤 保 (建築) 安井 豊文 電話 5744-1399</p>																				

事業名	校舎等の改築
予算額	19億383万円
事業の ねらい	児童数の増加や校舎の老朽化等に対応するため校舎を改築します。
事業概要	<p>1 嶺町小学校校舎等の改築 18億4,163万円</p> <p>(1) 施設の概要 所在地：田園調布南6番10号</p> <p>(2) スケジュール概要（予定）</p> <p>平成23年度～26年度 仮設体育館リース 平成23年度 既存体育館・プール解体 平成23年度～24年度 普通教室棟建設工事（Ⅰ期工事） （竣工予定 平成25年3月） 平成24年度～25年度 既存校舎解体 平成26年度 体育館棟建設工事（Ⅱ期工事） （竣工予定 平成27年3月） 平成27年度 外構工事</p> <p>2 東六郷小学校校舎の改築 基本・実施設計 4,196万円</p> <p>(1) 施設の概要 所在地 東六郷二丁目3番1号</p> <p>(2) スケジュール概要（予定）</p> <p>平成23年度 基本構想・基本計画 平成24年度～25年度 基本設計・実施設計 平成26年度～27年度 建設工事</p>

	<p>3 志茂田小学校・志茂田中学校の改築 基本構想・基本計画 2,024 万円</p> <p>(1) 施設の概要</p> <p>志茂田小学校 所在地 西六郷一丁目 4 番 2 号 志茂田中学校 所在地 西六郷一丁目 4 番 10 号</p> <p>(2) スケジュール概要 (予定)</p> <p>平成 24 年度 基本構想・基本計画 平成 25 年度～26 年度 基本設計・実施設計 平成 27 年度～29 年度 建設工事</p>
問合先	担当課 教育総務部 教育総務課
	課長氏名 施設担当課長 西野 正成 電話 5 7 4 4 - 1 4 3 0
	担当者氏名 1 (建築) 安井 豊文 (電気) 川添 立雄 (設備) 田中 健一 2 星野 隆義 3 岡田 光夫 電話 5 7 4 4 - 1 3 9 9



【3】安全・安心（1）

<p>事業名</p>	<p>☺☺☺ 区立保育園・民間保育所・福祉避難所における 防災備蓄物品の確保 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>1,180万円</p>
<p>事業の ねらい</p>	<p>区立保育園、民間保育所に防災備蓄食料を配備することにより、園児の安全・安心を確保します。 福祉避難所に予定している区立障がい者施設に衛生用品、防災備蓄消耗品等を配備し、避難所の開設・運営に向けた体制を整えます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 区立保育園 179万円 5,975人分</p> <p>2 民間保育所 121万円 震災対策費として、購入経費を助成します。 ①私立保育園 83万円（2,761人分） ②認証保育所 35万円（1,155人分） ③指定保育室 3万円（101人分） ④家庭福祉員 1万円（21人分）</p> <p>3 障がい者施設 879万円（13施設分） 福祉避難所（区立障がい者施設13施設）には、毛布・アルミ敷マット・おかゆ・アルファ化米・クラッカー・保存水を既に配備しています。 災害時に福祉避難所として開設・運営するために、必要となる備蓄消耗品（衛生用品、電気器具、生活用品等）を配備します。</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 (上記1,2) こども家庭部 保育サービス課 (上記3) 福祉部 障害福祉課</p> <p>課長氏名 (上記1,2) 薄根 幸 電話 5744-1276 (上記3) 長堀 利一 電話 5744-1249</p> <p>担当者氏名 (上記1,2) 中川 洋 電話 5744-1279 (上記3) 小泉 直美 電話 5744-1639</p>

【3】安全・安心（2）

事業名	 防災意識の啓発と防災体制の推進 新規
予算額	255万円
事業のねらい	<p>東日本大震災の発生を受け、区民の防災意識が高まっていることから、啓発による更なる意識の高揚を図ります。</p> <p>また、総合防災力強化に向け、新規事業を展開します。</p>
事業概要	<p>1 防災意識の啓発 108万円</p> <p>(1) マンション等共同住宅向け防災講習会の実施 6万円 マンション等共同住宅に共通する防災上の課題に、居住者が自ら取り組み、対策を講じていただく一助とするため、防災講習会を実施します。</p> <p>(2) 防災パンフレットと防災ポケットガイドの作成 102万円 各1万部作成し、区民の方へ配布します。</p> <p>2 防災体制を強化 148万円</p> <p>(1) 地域防災計画（修正要約版）の作成 46万円 平成23年度に展開した総合防災力強化検討委員会の報告書を受け、地域防災計画を見直します。本編の修正に先行して、検討委員会の報告を受けた修正内容を要約します。</p> <p>(2) 幹部職員防災リーダー研修 49万円 全幹部職員を対象に、災害時のリーダーシップ強化を目的とした研修を実施し、防災対応能力の向上をめざします。</p> <p>(3) 区民安全安心メールサービス・システム改修による防災無線情報の自動転送 53万円 現在、運用している区民安全安心メールに防災無線情報を自動転送する仕組みを構築するため、システム改修を実施します。今回の改修により防災無線で放送した内容をそのまま配信することが可能となり、災害時に区民に対して正確な情報を提供することができます。</p>
問合せ先	<p>担当課 地域振興部 防災課</p> <p>課長氏名</p> <p>(上記 2-(1)(2)) 宇佐見 衛 電話 5744-1234</p> <p>(上記 1-(1)(2) 2-(3)) 久保田 起美恵 電話 5744-1712</p> <p>担当者氏名</p> <p>(上記 1-(1)(2)) 柿ノ迫 格衛 電話 5744-1237</p> <p>(上記 2-(1)(2)) 長沼 宏幸 電話 5744-1236</p> <p>(上記 2-(3)) 角田 彰 電話 5744-1634</p>

事業名	 蒲田駅周辺での帰宅困難者対策 新規
予算額	312万円
事業のねらい	<p>平成22年度に蒲田駅周辺滞留者対策推進のため、協議会を設立して検討・訓練を実施しました。</p> <p>平成24年度は、東日本大震災の帰宅困難者等への対応状況及び課題・教訓を踏まえて、現行ルールの見直し及び充実・強化を図ります。全3回のワークショップを開催し、「蒲田駅周辺ルール 改訂版（案）」を策定します。</p>
事業概要	<p>1 経過</p> <p>大規模災害発生時の帰宅困難者等への対策については、蒲田駅周辺滞留者対策推進協議会（以下、「協議会」という）を中心に、その対応及び対策について検討を行い、平成22年度に訓練を実施しました。</p> <p>東日本大震災の時には、蒲田駅周辺での帰宅困難者約2,300人を一時収容場所へ誘導するとともに、区が用意したクラッカーや毛布等を支給するほか、鉄道各社の運転再開情報の提供等を行った経験から、協議会の役割の重要性が再確認されました。</p> <p>2 課題</p> <p>東日本大震災の時の帰宅困難者等への対応は、必ずしも全て円滑に取り組めたわけではなく、協議会で検討してきた内容を実行する際に、様々な問題があることが判明しました。同時に、一時収容場所での対応のあり方など新たな課題も認められました。</p> <p>3 概要</p> <p>東日本大震災での帰宅困難者対応で浮き彫りになった課題等について、協議会関係者を対象とした全3回のワークショップを実施します。</p> <p>ワークショップを通じて帰宅困難者問題・対策についての再認識と役割を確認するとともに、関係者間の連携強化を図り、現行の「蒲田駅周辺ルール」を見直し、今後の帰宅困難者対策の実効性を高めます。</p>
問合せ先	担当課 地域振興部 防災課
	課長氏名 宇佐見 衛 電話 5 7 4 4 - 1 2 3 4
	担当者氏名 長沼 宏幸 電話 5 7 4 4 - 1 2 3 6

事業名	 羽田空港天空橋船着場の管理 新規
予算額	1, 149万円
事業のねらい	<p>「おおた未来プラン10年」や「大田区地域防災計画」に基づき、地域の防災力強化や空港臨海部の水上輸送ネットワーク構築のため、羽田空港に隣接する海老取川の天空橋付近に船着場を整備しました。</p> <p>この船着場は、災害時には人や物資を運ぶための水上輸送拠点として活用し、区民の安全・安心の向上を図ります。</p> <p>平常時には、水辺の環境を活かしたクルージングや体験学習等様々な形で活用し、観光振興にもつながるように管理運営を行います。</p>
事業概要	<p>羽田空港天空橋船着場を活用し、警察や消防署、地元漁業組合等と連携しながら防災訓練等を実施し、災害時に備えた体制づくりを行います。平常時には、水上バス等の観光船の試験運行を実施し、地域振興や観光振興を図ります。</p> <p>災害時における施設の安全性の確保と平常時の観光的な活用を適切に行うため、施設の安全点検や栈橋の予約受付業務等を行います。</p> <p>所在地：羽田空港一丁目1番2号</p> <p><主な維持管理業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ○船着場管理業務 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者受付業務 ・船着場および管理棟管理業務 ○栈橋の安全点検及び小破修繕工事
問合せ先	担当課 都市基盤整備部 糀谷・羽田まちなみ維持課
	課長氏名 <small>あだち</small> 明立 周二 電話 3741-3154
	担当者氏名 寺林 裕康 電話 3741-3169



【3】安全・安心（5）

事業名	 防災船着場を利用した防災訓練 新規												
予算額	39万円												
事業のねらい	<p>羽田空港（天空橋）船着場が、平成23年度中に竣工する予定で、この他既設の防災船着場が、区内には5箇所あります。平成24年度は、これら船着場の1箇所を、防災訓練を実施します。</p>												
事業概要	<p>大災害では、陸路が寸断されて輸送に支障が生じる恐れがあります。大田区地域防災計画で、救助物資等の輸送手段として、海上輸送を活用する旨規定しており、物資や人を輸送するルートを複数確保する必要があります。</p> <p>この訓練は、防災訓練の一環として区が主体となり、防災船着場を利用して行う実践型の訓練です。</p> <p>具体的な訓練想定内容</p> <p>(1) 物資や人を載せる場合の量及び人数の確認並びに、その動線を検証します。</p> <p>(2) 物資や人を船着場まで運ぶアクセスを検証します。</p> <p>(3) 各種の参加団体が連携し、一体となった訓練を実施することにより、発災時の各団体の活動・役割等を検証します。</p> <p>※参加団体は、東京空港事務所、地元自治会・町会、医療機関、消防、警察、物資輸送のためのトラック協会等を想定しています。</p> <p>※防災船着場を利用した防災訓練は、初めての実施です。</p>												
問合先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">地域振興部 防災課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>久保田 起美恵</td> <td>電話</td> <td>5744-1712</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>柿ノ迫 格衛</td> <td>電話</td> <td>5744-1237</td> </tr> </table>	担当課	地域振興部 防災課			課長氏名	久保田 起美恵	電話	5744-1712	担当者氏名	柿ノ迫 格衛	電話	5744-1237
担当課	地域振興部 防災課												
課長氏名	久保田 起美恵	電話	5744-1712										
担当者氏名	柿ノ迫 格衛	電話	5744-1237										

【3】安全・安心（6）

<p>事業名</p>	<p>老朽化街路灯の緊急取替工事（LED 街路灯） 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>1, 250万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>東日本大震災を起因とする電力不足や地球温暖化対策としての二酸化炭素排出抑制等により、電力使用の一層の削減が求められています。 このため、老朽化した街路灯を試験的に LED 化し、環境に配慮した安全・安心のまちづくりを進めます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>約 24,000 灯の街路灯を管理するなか、昭和 50 年以前設置の老朽化した街路灯 445 灯について取替工事を実施しています。 この街路灯取替工事は、平成 22 年度から実施し、平成 23 年度で 180 灯の整備を終え、平成 24 年度以降整備予定の街路灯は 265 灯です。 平成 24 年度 of 取替工事に併せて街路灯の一部を試験的に LED 化し、省エネ効果や街路灯としての性能を検証します。</p> <p>○老朽化街路灯の緊急取替工事（LED 街路灯） 糀谷・羽田まちなみ維持課管内 LED 街路灯取替 50 灯（水銀灯 80W 相当）</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 糀谷・羽田まちなみ維持課</p>
	<p>課長氏名 <small>あだち</small> 明立 周二 電話 3741-3154</p>
	<p>担当者氏名 寺林 裕泰 電話 3741-3169</p>

【3】安全・安心（7）

<p>事業名</p>	<p>密集住宅市街地整備促進事業</p>
<p>予算額</p>	<p>5, 7 7 1 万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>東京都の防災都市づくり推進計画に定める整備地域に該当する木造住宅の密集地域において、老朽建築物の建替え促進及び道路・公園等の公共施設の整備を通じ、防災性向上と居住環境の整備を総合的に行います。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 羽田地区防災まちづくり支援 1,459 万円 東京都の防災都市づくり推進計画において指定された整備地域を含む羽田 1～6 丁目地区内で、平成 23 年度に地域住民が主体となった協議会組織「羽田の防災まちづくりの会」が設立されました。 区はこの組織と協働で、災害に強いまちづくりをめざした取り組みを進めます。</p> <p>【区が取り組む主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり組織活動支援 ・整備計画等策定調査 ・まちづくり計画案の検討 <p>2 建設資金融資利子補給 4,311 万円 平成 2～13 年度に行った老朽建築物の建替えのうち、建設資金の一部融資あっせんを行った建築物を対象に、最長 20 年間の利子補給を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 42 件 33 棟
<p>問合先</p>	<p>担当課 まちづくり推進部 都市開発課</p> <p>課長氏名 落合 邦男 電話 5 7 4 4 - 1 4 5 5</p> <p>担当者氏名 池上 明 電話 5 7 4 4 - 1 3 3 8</p>

【3】安全・安心（8）

<p>事業名</p>	<p>耐震診断・改修助成事業</p>
<p>予算額</p>	<p>8億5,595万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>大地震による建物の倒壊から区民の生命や財産を守り、災害に強いまちづくりに寄与することを目的に、古い耐震基準で建築された耐震性の低い民間建築物について、耐震化の普及啓発を行うとともに、耐震化費用の一部を助成します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 耐震コンサルタント派遣等 3,230万円 建築物の耐震化についての相談や現地調査を行うための耐震コンサルタント派遣、分譲マンション区分所有者の耐震化に向けた合意形成支援を図るためのアドバイザー派遣、耐震講習会やキャンペーンの実施、案内パンフレットの作成等を行います。</p> <p>2 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化助成 6億8,600万円 東京都の耐震化条例施行に伴い、特定緊急輸送道路沿道建築物に対する耐震化助成を開始しました。</p> <p>(1) 耐震診断助成 延べ面積に応じて費用の4/5～10/10を助成します。</p> <p>(2) 耐震改修計画・設計助成 助成対象費用に応じて費用の1/3+200万円～5/6を助成します。</p> <p>(3) 耐震改修工事助成 延べ面積と助成対象費用に応じて費用の1/6～5/6を助成します。</p> <p>3 住宅・建築物の耐震化助成 1億3,665万円 住宅、マンション、住宅以外の建築物に対する耐震化助成を行います（特定緊急輸送道路沿道建築物を除く）。</p> <p>(1) 耐震診断助成 助成限度額(助成割合)：木造住宅10万円(2/3)、マンション100万円(2/3)</p> <p>(2) 耐震改修計画・設計助成 助成限度額(助成割合)：木造住宅15万円(2/3)、マンション100万円(2/3)</p> <p>(3) 耐震改修工事助成 助成限度額(助成割合)：木造住宅100万円(1/2)※高齢者等特別加算の場合150万円(2/3)、分譲マンション1,000万円(1/2)、賃貸マンション500万円(1/2)</p> <p>4 耐震シェルター・ベッド設置費助成 100万円 家全体の耐震改修工事を行うことが経済的に困難な高齢者等のため、寝室等に設置できる耐震シェルター・耐震ベッドへの費用助成を行います。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 まちづくり推進部 都市開発課 課長氏名 落合 邦男 電話 5744-1455 担当者氏名 倉 一郎 電話 5744-1349</p>

【3】安全・安心（9）

<p>事業名</p>	<p>都市防災不燃化促進事業</p>
<p>予算額</p>	<p>7,719万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>平成23年10月1日から施行した「大森中・糀谷・蒲田地区防災街区整備地区計画」の区域内で指定された地区防災道路の防災機能を強化します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 建築物不燃化助成金 31路線ある地区防災道路の中心から15m区域内の建築物を、耐火または準耐火建築物に建て替える際の費用の一部等を、平成24年度から10年間助成する予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築助成 17棟 6,936万円 ・仮住居助成 7件 280万円 ・住宅型不燃建築物助成等 1件 503万円
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 まちづくり推進部 都市開発課</p>
	<p>課長氏名 落合 邦男 電話 5744-1455</p>
	<p>担当者氏名 池上 明 電話 5744-1338</p>

【3】安全・安心（10）

事業名	池上第二保育園耐震補強等改修工事 新規
予算額	2億921万円
事業のねらい	耐震補強工事と併せて大規模改修工事を行うことで、安全・安心で良質な保育環境を整備します。
事業概要	<p>耐震診断結果に基づき、必要な補強工事を行います。併せて老朽化に対応するため、施設の大規模改修を行います。</p> <p>工事に伴ない、平成25年2月から仮園舎（大田区池上六丁目73番21および大田区池上六丁目73番22）で保育を行います。</p> <p>1 池上第二保育園所在地 池上八丁目25番6号</p> <p>2 スケジュール概要（予定） 平成24年度～平成25年度 実施設計及び改修工事 (竣工予定 平成25年11月)</p>
問合先	担当課 こども家庭部 子育て支援課 保育サービス課
	課長氏名
	子育て支援課長 小泉 邦雄 電話 5 7 4 4 - 1 2 7 1
	待機児担当副参事 市野 由香里 電話 5 7 4 4 - 1 6 4 1
保育サービス課長 薄根 幸 電話 5 7 4 4 - 1 2 7 6	
担当者氏名 鈴木 勝巳 電話 5 7 4 4 - 1 6 4 2	

事業名	<p style="text-align: center;">【橋梁の整備】</p> <p style="text-align: center;">橋梁の補修</p>
予算額	<p style="text-align: center;">7 1 5 万円</p>
事業のねらい	<p>橋梁の管理手法をこれまでの事後保全型管理から予防保全型管理へ転換することにより、橋梁の延命化を図り、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性を確保します。</p>
事業概要	<p>橋梁を延命化することにより、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性を確保するため、区が管理する 162 橋のうち 152 橋を対象として、平成 21 年度に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。</p> <p>この計画に基づき、平成 24 年度は、丸子川に架かる荏野橋・大塚橋についてコンクリートの劣化等を補修し、橋梁の延命化を図る工事を実施します。</p> <p><工事対象橋梁></p> <p>1 荏野橋 場 所：田園調布 4-34 から田園調布 5-52 供用開始年：昭和 33 年 橋の規模：橋長 5.5m、平均幅員 6.8m 補修工事の内容：主桁と護岸のコンクリート劣化部の補修</p> <p>2 大塚橋 場 所：田園調布 4-43 から田園調布 4-39 供用開始年：昭和 30 年 橋の規模：橋長 5.1m、平均幅員 3.8m 補修工事の内容：主桁のコンクリート劣化部の補修</p>
問合先	担当課 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課
	課長氏名 伊藤 晴司郎 電話 3 7 2 6 - 4 3 1 9
	担当者氏名 池田 利明 電話 3 7 2 6 - 4 3 0 3

事業名	<p align="center">【橋梁の整備】</p> <p align="center">橋梁の架替整備</p>												
予算額	<p align="center">4 億 9, 7 4 4 万円</p>												
事業のねらい	<p>区が管理する橋梁の中で、災害時の緊急道路障害物除去路線等、防災上重要な橋梁は、計画的に架替整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します。</p>												
事業概要	<p>平成7年の阪神・淡路大震災の被災経験を踏まえ、区が管理している橋梁 162 橋のうち、跨線橋等防災上優先度の高い 73 橋について、平成 23 年度に耐震整備の計画検討を行いました。</p> <p>その結果、「鉄道を跨ぐ橋」「環状七号線を跨ぐ橋」「運河に架かる橋」「呑川に架かる橋」「内川に架かる橋」を対象とした優先対策橋梁 51 橋を整備します。</p> <p>これら優先対策橋梁について、被災時の損傷を限定的に留めて落橋を未然に防ぐために、概ね 10 年程度を目標とした耐震整備を計画的に進めることとしています。</p> <p>橋梁の架替は、今後 10 橋を予定しています(残り 41 橋は、次頁参照「橋梁の耐震補強整備」)。平成 24 年度は、呑川に架かる2橋及び環状七号線に架かる1橋の架替工事を平成 23 年度に引き続き行います。新規に内川に架かる諏訪橋の架替工事に関わる調査、設計を行います。</p> <p>1 架替工事</p> <p>①八幡橋(北糀谷一丁目 22 番から西糀谷二丁目 5 番:平成 21 年度着手) 供用開始年:昭和 12 年 橋の規模 :橋長 29.9m、平均幅員 6.5m</p> <p>②仲之橋(久が原二丁目 12 番から仲池上二丁目 26 番:平成 22 年度着手) 供用開始年:昭和 43 年 橋の規模 :橋長 13.4m、平均幅員 6.7m</p> <p>③新馬込橋(北馬込二丁目 28 番から中馬込二丁目 26 番:平成 23 年度着手) 供用開始年:昭和 14 年 橋の規模 :橋長 40.7m平均幅員 12.8m</p> <p>2 架替調査設計</p> <p>諏訪橋(大森西二丁目 26 番から大森西三丁目4番) 供用開始年:昭和4年 橋の規模 :橋長 12.7m、平均幅員 3.4m</p>												
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">都市基盤整備部 建設工事課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>小出 和男</td> <td>電話</td> <td>5 7 6 4 - 0 6 8 9</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>定本 健</td> <td>電話</td> <td>5 7 6 4 - 0 7 0 4</td> </tr> </table>	担当課	都市基盤整備部 建設工事課			課長氏名	小出 和男	電話	5 7 6 4 - 0 6 8 9	担当者氏名	定本 健	電話	5 7 6 4 - 0 7 0 4
担当課	都市基盤整備部 建設工事課												
課長氏名	小出 和男	電話	5 7 6 4 - 0 6 8 9										
担当者氏名	定本 健	電話	5 7 6 4 - 0 7 0 4										

事業名	【橋梁の整備】 橋梁の耐震補強整備												
予算額	4億3,200万円												
事業のねらい	災害時の緊急道路障害物除去路線や鉄道を跨ぐ橋梁等、防災上重要な橋梁の耐震補強整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します。												
事業概要	<p>橋梁の耐震補強整備は、41橋を予定しています。平成24年度は、鉄道敷に架かる4橋の耐震補強工事及び4橋の耐震補強設計委託を行います。</p> <p>1 耐震補強・補修工事</p> <p>外川田跨線人道橋（西蒲田4-19から蒲田1-1：昭和44年12月供用） 橋の規模：橋長21.08m、平均幅員1.95m</p> <p>山王道跨線人道橋（山王1-1から南大井6-14：昭和40年9月供用） 橋の規模：橋長25.36m、平均幅員2.50m</p> <p>宮前跨線人道橋（仲六郷3-1から西六郷2-45：昭和49年3月供用） 橋の規模：橋長25.20m、平均幅員1.90m</p> <p>道々女木橋（南馬込6-36から南馬込6-31：昭和41年3月供用） 橋の規模：橋長119.81m、平均幅員3.40m</p> <p>2 耐震補強・補修設計</p> <p>稲荷橋（田園調布本町14から田園調布南29：昭和39年2月供用） 橋の規模：橋長21.06m、平均幅員7.60m</p> <p>美富士橋（田園調布本町22から田園調布南27：昭和39年2月供用） 橋の規模：橋長21.00m、平均幅員8.08m</p> <p>東原橋（田園調布本町1から田園調布南30：昭和39年1月供用） 橋の規模：橋長21.00m、平均幅員6.30m</p> <p>八橋（東馬込1-37から東馬込2-18：供用開始時期不明） 橋の規模：橋長19.91m、平均幅員4.67m</p>												
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">都市基盤整備部 建設工事課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>小島 圭二</td> <td>電話</td> <td>5764-0679</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>馬場 正弘</td> <td>電話</td> <td>5764-0724</td> </tr> </table>	担当課	都市基盤整備部 建設工事課			課長氏名	小島 圭二	電話	5764-0679	担当者氏名	馬場 正弘	電話	5764-0724
担当課	都市基盤整備部 建設工事課												
課長氏名	小島 圭二	電話	5764-0679										
担当者氏名	馬場 正弘	電話	5764-0724										

事業名	 被災地支援ボランティア調整センターの運営 新規
予算額	5,701万円
事業のねらい	<p>東日本大震災の被災地及び大田区へ避難している被災者を支援するため、区と区民の協働組織として開設した被災地支援ボランティア調整センターを引き続き運営し、被災地の1日も早い復旧・復興と区内避難者の生活を支えます。</p>
事業概要	<p>1 被災地への支援活動</p> <p>(1) 宮城県東松島市における宿泊型ボランティア活動に継続して取り組みます。支援活動用として、大田区と東松島市の往復を大型バスで定期的に運行し、現地には宿泊所も確保します。</p> <p>(2) 津波被害にあった市民の生活再建の支援等を行います。また、コミュニティの再生と被災者同士の交流の場づくり等、各種交流事業を開催します。</p> <p>(3) 現地の方の要望に沿った高齢者の見守り、孤立化防止等の支援を行います。</p> <p>2 区内避難者への支援活動</p> <p>(1) 避難者の交流の場として交流会やサロン活動を展開します。</p> <p>(2) 区内の弁護士・司法書士・ケアマネージャー等、専門家と協働で、法律・健康生活等に関する相談会や必要な訪問事業を実施します。</p> <p>(3) 避難者に必要な情報を適時、提供します。</p> <p>3 災害時ボランティアの育成</p> <p>被災地で活動経験のある区民が、区内での災害時にもボランティアとして活動するために必要な知識や技術を学ぶ防災塾を開講します。</p>
問合先	担当課 地域振興部 地域振興課
	課長氏名 区民協働担当課長 白鳥 信也 電話 5744-1225
	担当者氏名 松木 伸浩 電話 5744-1204

【4】産業・環境（1）

<p>事業名</p>	<p>（仮称）東糶谷六丁目工場アパートの開設 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>1億9,767万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>（仮称）東糶谷六丁目工場アパートを区が借り上げ、工業集積の維持・発展を目的に、区内外のものづくり企業の立地推進を図ります。</p>
<p>事業概要</p>	<p>平成24年6月に（仮称）東糶谷六丁目工場アパートを開設します。大規模な工場アパートは、本羽田二丁目第2工場アパート（テクノWING）、大森南四丁目工場アパート（テクノFRONT森ヶ崎）に続き、3棟目になります。民間企業の建物を、区が借り上げ、ものづくり企業の皆様にご使用いただき、工業集積の発展を進めます。</p> <p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積 4,257.68 m² (1,287.95 坪) ・延床面積 8,488.65 m² (2,567.81 坪) ・室数 全33ユニット 約90 m² (2ユニット)、約100 m² (2ユニット)、 約145 m²前後 (6ユニット)、約210 m²前後 (23ユニット) ・構造 鉄筋コンクリート造4階建て ・用途地域 工業専用地域 ・床荷重 1-2階：2.5トン/m² 3-4階：1.5トン/m² ・開設 平成24年6月1日予定 <p>【経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借上げ使用料 1億9,251万円（月額18,334千円×10ヶ月） ※期間 平成24年4月1日から20年間 （平成24年4月1日から5月31日までは、フリーレント） ・初度調弁 484万円 備品購入費 341万円 一般需用費 143万円 ・書類審査料（入居審査）11万円 <p>【その他】</p> <p>本施設の4階部分には、工業PRのための展示コーナーを設けます。また、大田の工匠100人受賞者など、高度な技術を有する企業の立地を進め、技術・技能の継承を進めるスペースと位置づけています。公益財団法人大田区産業振興協会が、本施設で技術継承講習会を実施予定です。</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 産業経済部 産業振興課</p> <hr/> <p>課長氏名 町田 達彦 電話 3733-6124</p> <hr/> <p>担当者氏名 山本 成俊 電話 3733-6183</p>

< (仮称) 東糀谷六丁目工場アパートイメージ図 >



【4】産業・環境（2）

<p>事業名</p>	<p>新製品・新技術開発支援事業</p>
<p>予算額</p>	<p>9,559万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>区内の中小企業者が取り組む新製品・新技術開発に要する経費の一部を支援します。開発段階に応じた支援を行うことで、区内中小企業の技術力、製品開発力の向上を図り、付加価値を生み出すものづくり産業の活性化を図ります。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 開発スタート助成・開発ステップアップ助成 4,400万円 企画・設計から試作開発までに要する経費の一部を助成します。 (1) 開発スタート助成 400万円 ①対象：創業間もない企業や開発型企業への転換をめざす区内中小企業者 ②助成限度額：200万円 ③助成率：助成対象経費の2/3 (2) 開発ステップアップ助成 4,000万円 ①対象及び助成限度額： 1,000万円 区内事業所で従業員が10名以上の中小製造業者 500万円 区内中小製造業者 ②助成率：助成対象経費の2/3</p> <p>2 実用化助成 5,000万円 試作段階の開発を終え、製品・技術の実用化に近い段階での開発に入っており、開発終了後に早期に売りに結びつく取り組みに助成します。 ①対象及び助成限度額： 1,000万円 区内事業所で従業員が10名以上の中小製造業者 500万円 区内中小製造業者 100万円 区内中小企業者 (製造業以外の商社、サービス業なども含む) ②助成率：助成対象経費の2/3</p> <p>3 審査会の開催 159万円 事前評価、書類審査会、面接審査会、最終審査会により、採択企業を決定します。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 産業経済部 産業振興課 課長氏名 町田 達彦 電話 3733-6124 担当者名 佐藤 信也 電話 3733-6183</p>

【4】産業・環境（3）

事業名	<p>✦ 区内工場立地・操業環境整備助成事業</p>
予算額	<p>1億1,240万円</p>
事業のねらい	<p>区内ものづくり企業は、景況の停滞や周辺環境の変化によって、事業拡張や設備投資が難しくなっています。区内工場数の減少を食い止め、産業競争力を培うため、ものづくり企業者による区内工場の新・増設や工場内の設備改修、区外企業の区内への移転経費等を支援します。</p>
事業概要	<p>ものづくり工場立地助成は平成20年度から継続実施しています。</p> <p>今回、助成事業の対象を見直し、区内ものづくり企業の集積の維持・発展を促進します。</p> <p>現行の制度では、区内で3年以上継続して同一業種を営む製造業者、区外で3年以上継続して区が定める業種を営む製造業者、区内の貸工場所有者が、工場の新增設、移転、工場内の設備改修、エアコン等の付帯設備の整備のために要する経費が500万円以上の場合に助成しています。</p> <p>今まで、区の設置する工場アパートへの移転等は対象外でしたが、今回の改正では、工場アパートへの移転についても対象とします。広い工場区画に移転する企業は、移転経費について500万円以上を投入するケースが多く、そのような企業を対象とすることで、区内企業への発注効果、企業における雇用効果が向上することを促進するものです。</p>
問合先	<p>担当課 産業経済部 産業振興課</p>
	<p>課長氏名 町田 達彦 電話 3733-6124</p>
	<p>担当者名 山本 成俊 電話 3733-6183</p>

【4】産業・環境（5）

<p>事業名</p>	<p>技術連携による大手企業との取引開拓事業 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>202万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>高い技術力や優れた製品開発力を持ち、区内産業を牽引する役割が期待される研究開発型企業と大手企業とのマッチング機会を創出することによって大手企業との取引を促進し、区内産業の活性化に寄与します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>これまでの「下請け」・「系列」取引関係が崩壊しつつある中で、区内の中小企業は生き残りのため新たな取引先の開拓が必要となっています。</p> <p>一方、大手企業においては、製品開発のスピードアップと経費削減のため、自社開発から外部技術の活用に転換する企業も増えてきています。</p> <p>そこで、公益財団法人大田区産業振興協会の新規事業として、大田区の中 小企業の中でも研究開発型企業が、大手の開発部門に出向いて自社の技術力を直接 PR する機会を設けることで、技術連携の促進と取引の拡大を図るとともに、区内企業への取引の波及をめざします。</p> <p>平成24年度は、関東地区の大手製造業と3回の「マッチング会」を計画しています。このマッチングでの成約確率を高めるため、産業振興協会内に技術的専門知識を持つコーディネーターを増員し、大手側のニーズと区内企業が提供できる技術やノウハウの掘り起こしに重点的に取り組みます。さらに、マッチング会実施後のフォローアップとして、取引成約に向けた専門的なサポートを行います。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 産業経済部 産業振興課 (公益財団法人 大田区産業振興協会 企業支援グループ)</p> <p>課長氏名 企業支援グループディレクター 高月 茂 電話 3733-6126</p> <p>担当者氏名 中山 淳一 電話 3733-6126</p>

事業名	+ 大田ブランド紹介 DVD のリニューアル
予算額	150万円
事業のねらい	<p>大田ブランド登録企業の高い技術力やモノづくりネットワークの強みを、動画で表現し、「大田ブランド」の国内外への周知浸透を図ります。</p>
事業概要	<p>大田ブランドの理念は、「大田区の工業集積の強みやモノづくりに対する真摯な職人気質を継承し、未来に挑戦する企業活動」です。国により羽田空港跡地が東京都の「アジアヘッドクォーター特区」に指定されたことで、国内外の企業からの大田区中小製造業への注目度が高まります。</p> <p>この機会に、大田ブランド推進協議会では、「大田モノづくりブランド発信事業助成金」の交付を受け、大田ブランドを強くPRするため動画制作を行います。</p> <p>この動画は国内外からの視察受入時に活用するほか、羽田空港国際線ターミナル内の観光情報コーナー等での公開やインターネット配信により国内外への広域的PRに活用します。</p> <p>あわせて、大田ブランド登録企業を中心とした取引の拡大、海外展開の支援にも繋がります。</p>
問合先	担当課 産業経済部 産業振興課 （公益財団法人 大田区産業振興協会 管理グループ）
	課長氏名 管理グループディレクター 室田 勉 電話 3733-6442
	担当者氏名 企画広報チームリーダー 大橋 弘 電話 3733-6476

【4】産業・環境（7）

<p>事業名</p>	<p>区損失補償付融資あっせん企業への経営サポート 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>44万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>区損失補償付融資あっせん企業への融資実行後に、中小企業診断士による経営サポートを実施し、貸付事故を未然に防止するとともに安定的な経営を支援します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>区損失補償付融資について、中小企業診断士の経営診断報告に基づき、大田区中小企業融資あっせん審査会で融資あっせんが決定し、融資実行された企業に、融資実行後6か月後を目途に当該診断士が訪問し、現況確認と経営指導を行います。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 産業経済部 産業振興課</p>
	<p>課長氏名 町田 達彦 電話 3733-6124</p>
	<p>担当者氏名 石山 雅弘 電話 3733-6185</p>

事業名	 商店街コミュニティ活性化事業
予算額	978万円
事業のねらい	<p>商店街会館や空き店舗等を活用して、商店街に買い物に来た方に、休憩場所として「お休み処」を整備し、来街者にコミュニティ空間を提供します。</p>
事業概要	<p>新たなコミュニティ空間を創出するため、商店街会館や空き店舗等を活用して、来街者にお休み処・トイレ等を開放し提供する商店街に、施設整備費及び運営費の一部を助成します。</p> <p>1 施設整備への助成 348万円 お休み処開設準備、空き店舗の改修、サイン等の統一看板及び什器類の設置にかかる費用の一部を助成します。</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)事務所改修 283万円 (2)サイン等設置 50万円 (3)什器類 15万円</p> <p>2 施設運営への助成 630万円 お休み処の運営に伴う費用の一部を助成します。</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)新規開設商店街 90万円 (2)既開設商店街 540万円</p> <p>【新規商店街】 大森柳本通り商店街振興組合（平成24年6月開設予定） 【既開設商店街】 雑色商店街振興組合(平成21年3月開設) 長原商店街振興組合(平成21年3月開設) 矢口の渡商店会(平成21年8月開設) 日の出銀座商店街振興組合(平成22年2月開設) 梅屋敷東通り商店街振興組合(平成22年2月開設)</p>
問合せ先	担当課 産業経済部 産業振興課
	課長氏名 町田 達彦 電話 3733-6124
	担当者氏名 栗林 正勝 電話 3733-6184

事業名	  環境基本計画の推進 新規
予算額	531万円
事業のねらい	<p>大田区で初めての「環境基本計画」が、平成24年度にスタートします。この計画の特徴の一つは「産業のまちおおた」を踏まえ、下記A分野を基本目標の一つに掲げていることで、区内企業と周辺環境が調和しつつ、環境産業が形成され、途上国等に対する国際貢献や大田区産業の振興が図られている姿を描いています。この実現により環境の時代をリードしていくために、各界との「環境」への意識・課題の共有化を図ります。</p>
事業概要	<p>計画のめざすべき環境像では、「環境と生活・産業の好循環を礎とした持続可能で快適な都市（まち）」とし、6つの基本目標を定めています。</p> <p>A:環境と産業の調和の実現と好循環の創出 B:快適で安全な暮らしの実現 C:低炭素社会の構築 D:自然共生社会の構築 E:循環型社会の構築 F:持続可能な地域づくりのための学習と参加の場の創出</p> <p>計画関連施策は110あり、中でも大田区の強みである「ものづくり力」を踏まえた環境面からのアプローチとして、「国際貢献のための環境技術情報の提供」を行います。そのためにシンポジウムをはじめとした情報提供を事業者や区民等に行い、環境ビジネスや意識の涵養に繋がります。</p>
問合先	担当課 環境清掃部 環境保全課
	課長氏名 近藤 倫生 電話 5744-1361
	担当者氏名 木下 眞孝 電話 5744-1362

【4】産業・環境（10）

<p>事業名</p>	<p>エコライフの普及</p>
<p>予算額</p>	<p>1億655万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>地球温暖化問題を解決するためには、区民一人ひとりの取り組みが重要です。太陽エネルギー利用機器や省エネルギー機器を設置する区民に、その経費の一部を助成することで再生可能エネルギーの積極的活用と省エネ生活の推進を図ります。さらに、環境イベントやリーフレット配布を通じて省エネ行動の実施を呼びかけます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 太陽エネルギー利用機器設置助成 (1) 太陽光発電システム 50,000円/kW 上限30万円 (2) 太陽熱温水器 9,000円/m² 上限10万円 (3) 太陽熱ソーラーシステム 16,500円/m² 上限20万円</p> <p>2 省エネルギー機器設置助成</p> <p>3 打ち水大会 8月開催予定</p> <p>4 児童向け啓発リーフレット 小学生を対象とした地球温暖化防止啓発リーフレットを作成します。</p> <p>5 環境カレンダー・家計簿作成</p> <p>6 省エネ技術講習会</p> <p>7 節電チャレンジ 大田区地球温暖化対策地域協議会との協働により、「節電チャレンジ」を実施します。勉強会や節電チェックシートを用いて家庭における節電への取り組みの推進を行います。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 環境清掃部 環境保全課</p> <p>課長氏名 近藤 倫生 電話 5744-1361</p> <p>担当者氏名 吉田 実 電話 5744-1362</p>

事業名	 住民参加型植樹管理(おおた花街道) 新規
予算額	230万円
事業のねらい	<p>区道上の植栽帯等の管理を地域の方々に主体となって実施していただくことで、地域ごとに特色ある景観を区民とともに作り上げ、地域力を活かした花と緑の魅力あるまちなみをめざします。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 田園調布二丁目地区（平成22年度から実施） 地域の方々が選定した植物を年3回植替え、管理します。 従来からのエリアを拡充します。 33㎡（合計） 2 鶉の木二・三丁目地区（平成23年度から実施） 地域の方々が選定した植物を年3回植替え、管理します。 鶉の木二丁目地区に加え、新たに鶉の木三丁目でも実施します。 20㎡（合計） 3 大岡山駅前広場 駅前広場の花壇を、地域の方々が主体的に整備できるよう、ワークショップを開催し、コミュニティーガーデン（地域の人々が、自主的につくる庭や花壇）づくりを行います。 また、地域の方々と協働で植栽維持管理を行い、特色ある景観づくりを進めます。
問合先	担当課 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課
	課長氏名 伊藤 晴司郎 電話 3726-4319
	担当者氏名 池田 利明 電話 3726-4303

【4】産業・環境（12）

<p>事業名</p>	<p>歩行喫煙防止・喫煙マナーの向上</p>									
<p>予算額</p>	<p>627万円</p>									
<p>事業のねらい</p>	<p>区における環境美化を促進し、区民の生活環境と喫煙マナー向上のために、環境美化に対する意識の啓発等総合的な施策を推進します。</p>									
<p>事業概要</p>	<p>「清潔で美しい大田区をつくる条例」の周知徹底を図り、地域美化を促進します。</p> <p>1 喫煙マナーアップキャンペーン等による啓発活動 啓発用ポケットティッシュ 15,000 個</p> <p>2 広報・屋外広告の掲示 (1) ポスター 950 枚 (2) 路面表示シート 90 枚</p> <p>3 喫煙場所の指定による喫煙マナーの向上 蒲田駅東西口路上禁煙地区内喫煙所清掃（正月を除く毎日）</p> <p>4 喫煙マナー巡回指導・啓発業務 2人1組の啓発員が2組で年間103日 （区内主要駅周辺、朝夕の通勤時間帯に各2時間）</p>									
<p>問合先</p>	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>環境清掃部</td> <td>環境保全課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>近藤 倫生</td> <td>電話 5744-1361</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>阿部 康克</td> <td>電話 5744-1366</td> </tr> </table>	担当課	環境清掃部	環境保全課	課長氏名	近藤 倫生	電話 5744-1361	担当者氏名	阿部 康克	電話 5744-1366
担当課	環境清掃部	環境保全課								
課長氏名	近藤 倫生	電話 5744-1361								
担当者氏名	阿部 康克	電話 5744-1366								

【5】観光・文化（1）

事業名	 「梅ちゃん先生」観光PR事業 新規
予算額	1, 260万円
事業のねらい	<p>蒲田が舞台のNHKの連続テレビ小説「梅ちゃん先生」が平成24年4月から放映されることを契機として、大田区の観光振興及び観光まちづくりをさらに推進します。大田区全体として機運を醸成するため、区や自治会・町会、観光・産業関係団体等で設立された推進委員会が実施する事業を支援します。</p>
事業概要	<p>1 NHK・関係機関等との連携による推進事業</p> <p>番組を放映するNHKや推進委員会を構成する関係機関、その他の区内関係団体との連携により、「梅ちゃん先生」と連動したパンフレット等PR媒体の作成・配布・掲出、パネル展示やシンポジウム等、梅ちゃん先生を原動力に地域おこしや観光まちづくり事業を支援します。</p> <p>また、区内各関係機関が独自に実施する「梅ちゃん先生」を活用したイベントや商品開発等の情報を収集し、大田区全体の様々な取り組みの一体性を持たせるようコーディネートします。</p>
問合せ先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128
	担当者氏名 印牧 和治 電話 3733-6190

事業名	+ 観光情報の提供 新規
予算額	2,320万円
事業のねらい	<p>区内に数多くある観光資源を区内外及び海外までにも広くPRするため、「大田区観光大使による魅力発信」や「羽田空港国際線内大田区観光情報コーナー」、「多言語に対応した大田区観光紹介パンフレットの作成」、「海外発行の情報誌への大田区PR情報の掲載」、「大田観光協会が発信するホームページや観光情報誌」、「観光関連の展示会出展によるPR」等を通じて、大田区の魅力をより多くの方々に知っていただき、誘客促進を図ります。</p>
事業概要	<p>1 大田区観光大使の任命 130万円 区内在住・在勤・在学等の大田区に縁のある外国人等の方々を大田区の観光大使（来～る大田区大使）として任命し、イベント等への参加を通じて感じた大田区の魅力を、ブログ・SNSなどのWebや、個人の人脈等を活用して出身国等にPRしていただきます。</p> <p>2 大田区観光情報コーナー運営 341万円 羽田空港国際線ターミナル到着ロビーに設置した「大田区観光情報コーナー」で、大田区の魅力を紹介するパンフレットや観光マップを配布します。また、大田区が誇る町工場の製品や区民の皆様等に愛される食品、伝統工芸品等を展示して魅力ある大田区を知っていただきます。</p> <p>3 海外へ向けての観光情報の提供 169万円 海外で発行される情報誌等に大田区の知名度向上につながるような記事を掲載等して魅力をPRします。一方的な情報発信とならないよう、アンケート調査を実施して、大田区に対する海外からみたイメージ調査等を行い、より効果的な魅力訴求へとつなげます。</p> <p>4 大田観光協会補助事業 1,505万円 大田観光協会が実施する「多言語化を施したホームページの管理運営」、「区内外で開催される各種イベントへの出展」、「観光マップ、パンフレット等の観光情報媒体の作成」等観光情報の提供事業を支援し、大田区のより深い魅力をPRします。</p> <p>5 大田区観光紹介パンフレットの作成 168万円 主に海外に向け、大田区の全体像を把握しやすくするようなイメージ訴求型の冊子パンフレットを作成し、日本政府観光局（JNTO）や東京観光財団（TCVB）等の観光関係団体を通じた海外PRを図ります。実際に大田区に来訪していただいた方用に、区内観光コースハンディマップを作成し、羽田空港観光情報コーナーや区施設、まちかど観光案内所等で配布し</p>

	<p>ます。</p> <p>6 観光展示会出展事業 6万円</p> <p>主に海外からの誘客（インバウンド）を対象とした観光関連事業者等が集う観光見本市に出展し、パネル展示やパンフレットの配布等により観光ルートを紹介する等、大田区観光の魅力をセールスします。</p>
問合先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128
	担当者氏名 印牧 和治 電話 3733-6190

【5】観光・文化（3）

事業名	★ 訪日外国人旅行者受入環境整備事業
予算額	635万円
事業のねらい	<p>平成23年度に蒲田が観光庁から「訪日外国人旅行者受入環境整備」の戦略拠点に指定されたことを受け、新しい日本の玄関口である羽田空港を利用する外国人等の方々に対し、利便性の向上へつながるような事業を展開してきました。24年度はこの取り組みを拡充し、大田区の観光スポットを周遊するマップの作成や、外国人旅行者をお迎えするお店のおもてなし力を強化するような事業を展開します。</p>
事業概要	<p>1 訪日外国人旅行者受入環境整備事業</p> <p>「おもてなし研修の開催」、「外国人対応メニューの作成支援」、「PR用ホームページの設営」、「ウェルカムショップ・まちかど観光案内所の認定」、「観光コース紹介マップの新規作成、既存分の更新」等の事業を展開します。</p> <p>事業展開にあたっては、蒲田のみならず大田区全域にスポットを当てていく予定です。</p>
問合先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128
	担当者氏名 印牧 和治 電話 3733-6190

事業名	 川瀬巴水コレクションの購入 新規
予算額	1,500万円
事業のねらい	<p>大田区とかかわりのある芸術家の作品を大田区が収集し、調査・研究・活用することで、区民が地域に関心と誇りを持つきっかけづくりをします。</p> <p>また、日本国内に限らず海外でも評価・人気の高い芸術家の作品を大田区が所蔵することで、大田区を国内外にアピールし観光客の誘致を図ります。</p>
事業概要	<p>1 川瀬巴水コレクション購入予定</p> <p>(1) 川瀬巴水「新版画」 316点</p> <p>(2) 川瀬巴水「肉筆画」 13点</p> <p>(3) その他（書籍等） 2点</p> <p>2 川瀬巴水コレクション購入後の活用</p> <p>(1) 郷土博物館の常設展示『馬込文士村』の川瀬巴水コーナーで展示します。</p> <p>(2) 「川瀬巴水」の特別展を開催し、活用を図ります。</p> <p>(3) 「川瀬巴水」調査・研究の充実を図ります。</p> <p>3 その他</p> <p>平成9年4月に博物館事業充実のためにいただいた寄付により設置した「郷土博物館資料取得積立基金」を活用して購入します。</p> <p>《川瀬巴水の略歴》</p> <p>明治16年に生まれ、大正7年以降版画制作の道に入る。大正15年現大田区中央四丁目に、昭和5年現大田区南馬込三丁目に居住。戦中は栃木県塩原に疎開するが、昭和23年以降は、昭和32年に亡くなるまで現大田区上池台二丁目に居住した。巴水は生涯に約700点の作品を制作したが、その版画制作活動39年の内31年が区内で展開された。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">「池上市之倉（夕陽）」昭和3年作</p>
問合先	担当課 教育総務部 大田図書館（郷土博物館）
	課長氏名 原 聡 電話 3758-3471
	担当者氏名 鈴木 英子 電話 3777-1070

【6】魅力あるまちづくり（1）

<p>事業名</p>	<p>【国際戦略総合特区】</p> <p style="text-align: center;">✈ 空港跡地整備に係る調査 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">2, 290万円</p>												
<p>事業の ねらい</p>	<p>羽田空港跡地のうち第1ゾーンを中心とする区域について、基盤施設整備のための予備調査を行います。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>「おおた未来プラン10年」において羽田空港跡地は、文化交流及び産業交流拠点を整備するとともに、潤いとやすらぎ空間の創出をめざすこととしています。また、「大田区都市計画マスタープラン」、「大田区産業振興基本戦略」等の個別計画においても、同様の方向性が示されています。</p> <p>平成22年10月、羽田空港移転問題協議会は「羽田空港跡地まちづくり推進計画」を策定し、空港跡地第1ゾーンに産業交流施設及び多目的広場等を導入し、10年後を目途にまちづくりの概成をめざすこととしました。</p> <p>跡地第1ゾーンは、平成23年12月に内閣府の指定を受けた国際戦略総合特区「アジアヘッドクォーター特区」構想において、対象エリアの一部となりました。</p> <p>大田区は、着実に跡地のまちづくりを推進するため、基盤施設整備に必要な予備的な調査を行います。</p>												
<p>問合せ先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td style="width: 35%;">経営管理部</td> <td style="width: 15%;">企画財政課</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>玉川 一二</td> <td>電話</td> <td>5744-1648</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>斎藤 吉男</td> <td>電話</td> <td>5744-1650</td> </tr> </table>	担当課	経営管理部	企画財政課		課長氏名	玉川 一二	電話	5744-1648	担当者氏名	斎藤 吉男	電話	5744-1650
担当課	経営管理部	企画財政課											
課長氏名	玉川 一二	電話	5744-1648										
担当者氏名	斎藤 吉男	電話	5744-1650										

【6】魅力あるまちづくり（2）

<p>事業名</p>	<p>【国際戦略総合特区】</p> <p style="text-align: center;">✦ 国際戦略総合特区推進事業 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">400万円</p>												
<p>事業の ねらい</p>	<p>空港への隣接性と京浜臨海部の中心に位置する立地特性を活かし、羽田空港跡地に大田区、首都圏はもとより海外を視野に入れた広域的産業交流ネットワークの拠点づくりを進めます。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>大田区は、羽田空港の国際化を契機として、羽田空港跡地の第1ゾーン部分（天空橋付近）に、日本の製造業を支える基盤産業の集積を強化し、技術の高度化等のイノベーションを創出する拠点として産業交流施設を整備する予定です。</p> <p>首都圏・国内はもとより海外の企業や、大学等の研究機関によるビジネス交流を通じて、新技術の創出や新市場の開拓につなげ、地域経済の活性化をはじめ、日本経済再生の起爆剤として日本のものづくりの国際競争力向上に向けた取り組みを実施していきます。</p> <p>平成23年12月に東京都が内閣府へ申請し指定を受けた国際戦略総合特区「アジアヘッドクォーター特区」構想において、羽田空港跡地の第1ゾーンが指定区域の一つに位置づけられました。</p> <p>整備予定の産業交流施設では、対日投資のワンストップサービスの実施や海外企業と国内企業とのビジネスマッチング機会の提供等により、特区構想の一翼を担います。</p> <p>今後、関係機関との連携や特例措置についての所管府省との協議等、本特区構想を推進するために産業交流施設の機能や整備方針等を具体的に示すことが求められることから、庁内において区長を本部長とするプロジェクトチームを設置し、具体化に向けた準備を進めます。</p> <p>あわせて、産業交流施設の設置によって、どのような経済等の効果が期待できるのかを調査研究します。</p>												
<p>問合せ先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td style="width: 35%;">経営管理部</td> <td style="width: 15%;">企画財政課</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>高橋 知之</td> <td>電話</td> <td>5744-1127</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>七田 哉</td> <td>電話</td> <td>5744-1122</td> </tr> </table>	担当課	経営管理部	企画財政課		課長氏名	高橋 知之	電話	5744-1127	担当者氏名	七田 哉	電話	5744-1122
担当課	経営管理部	企画財政課											
課長氏名	高橋 知之	電話	5744-1127										
担当者氏名	七田 哉	電話	5744-1122										

【6】魅力あるまちづくり（3）

事業名	 蒲田駅周辺地区の整備												
予算額	4,905万円												
事業の ねらい	<p>「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」の重点である駅周辺都市基盤（自由通路、自転車駐車場、駅前広場）再整備の検討を行っている調査研究会を、事業者、地元関係者を含めた「（仮称）蒲田都市づくり推進会議」へ発展的に再編し、駅周辺整備計画を策定します。</p> <p>平成22年度調査研究会中間報告を踏まえ、駅前広場について詳細な調査と基本計画を作成します。</p> <p>また、駅周辺街区の整備については、将来構想や整備の方向性を検討するため、関係地権者による組織づくりと運営支援を行います。</p>												
事業概要	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="375 723 1236 996"> 1 蒲田駅周辺整備計画策定業務等 ①関連交通流動の把握・整理及び交通基盤施設計画の検討 ②駅舎・駅ビル整備方針の検討 ③事業化プログラムの検討 ④会議開催等運営支援 ⑤駅前広場基本計画作成 </td> <td data-bbox="1268 723 1423 757" style="text-align: right;"> 4,112万円 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="375 1059 1141 1193"> 2 蒲田駅周辺街区再整備に係る地権者組織設立支援等 ①地権者組織設立・運営支援 ②建替手法等の検討 </td> <td data-bbox="1300 1059 1423 1093" style="text-align: right;"> 756万円 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="375 1249 1018 1283"> 3 （仮称）蒲田都市づくり推進会議の開催等 </td> <td data-bbox="1316 1249 1423 1283" style="text-align: right;"> 38万円 </td> </tr> </table>	1 蒲田駅周辺整備計画策定業務等 ①関連交通流動の把握・整理及び交通基盤施設計画の検討 ②駅舎・駅ビル整備方針の検討 ③事業化プログラムの検討 ④会議開催等運営支援 ⑤駅前広場基本計画作成	4,112万円	2 蒲田駅周辺街区再整備に係る地権者組織設立支援等 ①地権者組織設立・運営支援 ②建替手法等の検討	756万円	3 （仮称）蒲田都市づくり推進会議の開催等	38万円						
1 蒲田駅周辺整備計画策定業務等 ①関連交通流動の把握・整理及び交通基盤施設計画の検討 ②駅舎・駅ビル整備方針の検討 ③事業化プログラムの検討 ④会議開催等運営支援 ⑤駅前広場基本計画作成	4,112万円												
2 蒲田駅周辺街区再整備に係る地権者組織設立支援等 ①地権者組織設立・運営支援 ②建替手法等の検討	756万円												
3 （仮称）蒲田都市づくり推進会議の開催等	38万円												
問合せ先	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="375 1440 986 1473"> 担当課 </td> <td colspan="3" data-bbox="560 1440 986 1473"> まちづくり推進部 都市開発課 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="375 1485 494 1518"> 課長氏名 </td> <td data-bbox="560 1485 710 1518"> 齋藤 浩一 </td> <td data-bbox="774 1485 837 1518"> 電話 </td> <td data-bbox="869 1485 1136 1518"> 5744-1714 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="375 1529 494 1563"> 担当者氏名 </td> <td data-bbox="560 1529 710 1563"> 菊地 裕之 </td> <td data-bbox="774 1529 837 1563"> 電話 </td> <td data-bbox="869 1529 1136 1563"> 5744-1339 </td> </tr> </table>	担当課	まちづくり推進部 都市開発課			課長氏名	齋藤 浩一	電話	5744-1714	担当者氏名	菊地 裕之	電話	5744-1339
担当課	まちづくり推進部 都市開発課												
課長氏名	齋藤 浩一	電話	5744-1714										
担当者氏名	菊地 裕之	電話	5744-1339										

【6】魅力あるまちづくり（4）

事業名	 大森駅周辺地区の整備
予算額	1,946万円
事業のねらい	<p>平成23年3月に策定した「大森駅周辺地区グランドデザイン」で重点課題としている大森駅西側駅周辺の再整備について、地権者組織の運営支援を行い、関係地権者による整備構想の検討を進めます。また、整備計画策定に向けて関係機関や事業者、地元団体と調整を行います。</p>
事業概要	<p>大森駅周辺地区におけるまちづくり検討支援業務</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大森駅西側駅周辺整備構想の検討 <ol style="list-style-type: none"> ①まちづくりの方向性の整理・検討 ②整備構想の検討 ③関係機関、事業者、地元団体との調整 2 地権者組織支援 <ol style="list-style-type: none"> ①地権者組織運営支援 ②大森駅西側駅周辺まちづくりの検討
問合先	担当課 まちづくり推進部 都市開発課
	課長氏名 森永 昭彦 電話 5744-1454
	担当者氏名 菊地 裕之 電話 5744-1339

【6】魅力あるまちづくり（5）

<p>事業名</p>	<p>士 新空港線「蒲蒲線」整備促進事業</p>
<p>予算額</p>	<p>1, 047万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>新空港線「蒲蒲線」の整備により、東急線、京急線の両沿線地域相互間の交流機会が拡大し、区内の移動利便性が向上します。また、航空旅客が大幅に増大する羽田空港へのアクセス強化、蒲田地区のまちづくりへの寄与、東京圏多方面からのシームレス化、広域交通ネットワークの形成、緊急時の迂回ルート確保など、多くの整備効果が見込まれます。</p> <p>羽田空港は、平成26年3月に国際線旅客ターミナルのさらなる拡張が予定される等、今後も国際化がますます進展していく見込みであり、またアジアヘッドクォーター特区に含まれている羽田空港跡地の開発計画の進展等、新空港線「蒲蒲線」整備に対する期待はさらに高まっています。この機会をとらえ、新空港線「蒲蒲線」の早期実現をめざした取り組みを進めます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>新空港線「蒲蒲線」は、平成12年の運輸政策審議会答申第18号で、羽田空港アクセス機能の強化に資する路線として、平成27年までに整備着手することが適当である路線に位置付けられています。</p> <p>平成24年度の新空港線「蒲蒲線」整備促進事業は、平成23年度の勉強会での調査・検討を踏まえ、関係者との検討会において整備計画案作成に向けた検討をさらに進めます。</p> <p>あわせて、整備促進の一環として、新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会と連携し、区民の整備促進の機運をより高めます。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課</p> <p>課長氏名 佐藤 國治 電話 5744-1691</p> <p>担当者氏名 鈴木 誠 電話 5744-1332</p>

【6】魅力あるまちづくり（6）

<p>事業名</p>	<p>士 海辺の散策路整備 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>5,625万円</p>
<p>事業の ねらい</p>	<p>羽田空港を望む臨海部に、多くの人々が憩い、みどり豊かで水辺に親しめる散策路を整備します。 臨海部に水と緑のネットワークを形成することで、国際都市おおたにふさわしい景観やにぎわいのあるまちづくりにつなげます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>ふるさとの浜辺公園から多摩川を結ぶ水と緑のネットワークの形成に向け、海辺の散策路の整備工事を行います。 この工事では、人々が快適に利用できるように通路を拡幅し、平板ブロック舗装を行います。また、バリアフリー化を図るためスロープを設置します。さらに、人々が憩える魅力ある緑道となるように植栽の改修を行います。</p> <p>場 所 大森南四丁目4番～11番先 約380m 区間 工事内容 平板舗装 2,280 m² スロープ設置 2箇所 植栽改修 1式</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 黒沢 健志 電話 5744-1336 担当者氏名 石橋 克巳 電話 5744-1678</p>

【6】魅力あるまちづくり（7）

事業名	 桜のプロムナードの整備												
予算額	9,940万円												
事業のねらい	<p>さわやかな水と緑の輝きや四季の変化を楽しみながら散策できる遊歩道として、西馬込一丁目、馬込桜並木、内川沿いの道路を桜のプロムナードとして整備します。整備に合わせて、道路のバリアフリー化を図り、安全・快適なまちづくりをめざします。</p>												
事業概要	<p>1 実施設計 西馬込一丁目4番から18番先の道路を桜のプロムナードとして整備するために、実施設計を実施します。 西馬込一丁目4番から18番先 設計延長 100m</p> <p>2 工事 大森西二丁目21番先に位置する内川沿いの道路については、水辺を散策できる遊歩道の整備を行います。また、南馬込四丁目20番から六丁目21番先に位置する馬込桜並木については、施設の老朽化に伴い歩道や植樹柵のリニューアル整備を図り、桜並木の魅力を高めます。さらに、今回の整備に合わせて、道路のバリアフリー化を図ります。</p> <p>大森西二丁目21番先（大森第八中学校前） 整備延長 180m 南馬込四丁目20番から六丁目21番先（馬込桜並木） 整備延長 130m</p> <p>※P.29のユニバーサルデザインのまちづくり事業参照</p> <p>[桜のプロムナード 整備例]</p> 												
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">都市基盤整備部 建設工事課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>小出 和男</td> <td>電話</td> <td>5764-0689</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>保下 誠</td> <td>電話</td> <td>5764-0725</td> </tr> </table>	担当課	都市基盤整備部 建設工事課			課長氏名	小出 和男	電話	5764-0689	担当者氏名	保下 誠	電話	5764-0725
担当課	都市基盤整備部 建設工事課												
課長氏名	小出 和男	電話	5764-0689										
担当者氏名	保下 誠	電話	5764-0725										

【6】魅力あるまちづくり（8）

<p>事業名</p>	<p>☺☺☺ 魅力ある公園のリニューアル</p>
<p>予算額</p>	<p>2億9,530万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>安全で使いやすく世代や障がいの有無、国籍等に係わりなく誰もが憩い・交流できる場所として、また、自然環境の拠点、緑の保全の場として、地域の特色を踏まえた魅力的な公園のリニューアルを様々な手法を取り入れて推進します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 大規模公園のバリアフリー化 2億3,905万円 誰もが利用しやすい公園をめざし、バリアフリー整備を実施します。 (1) 萩中公園（設計・工事） (2) 本門寺公園（設計・工事） (3) 洗足池公園（設計・工事） (4) 平和の森公園（工事） (5) 池上梅園（設計・工事） ※P.29のユニバーサルデザインのまちづくり事業参照</p> <p>2 健康遊具の設置 1,115万円 幅広い世代の交流と高齢者の健康づくりをめざし健康遊具を設置します（年1箇所、4年計画の最終年度）。 ・萩中公園（糞谷・羽田地区）</p> <p>3 遊具改修 4,289万円 公園利用者が、安全で安心して遊べるよう、遊具の設置年度や点検結果等を踏まえ、各公園の遊具を計画的に取替・改修を行います。 (1) 邦西第二児童公園 (2) 中央二丁目児童公園 (3) 東調布公園 (4) 南蒲公園 (5) 新蒲田公園 (6) 旧呑川緑地</p> <p>4 桜の保全・更新 221万円 区民に親しまれている洗足池公園の桜の景観を残すとともに、倒木等の事故を未然に防ぐため桜の保護・保存作業を継続的に実施します。 （平成21年度からの継続事業）</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課 課長氏名 河野 秀夫 電話 5744-1689 担当者氏名 渡部 正美 電話 5744-1304</p>

【6】魅力あるまちづくり（9）

<p>事業名</p>	<p>✈ 空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等基礎調査 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">860万円</p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>平成22年3月に策定した「空港臨海部グランドビジョン2030」の実現に向け、「空港臨海部土地利用の誘導」、「空港臨海部交通ネットワークの整備」の検討・調査を行います。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>羽田空港の国際化や京浜3港連携に伴う東京港の港湾機能の強化により、空港臨海部での物流や旅客輸送が著しく増大し、空港周辺道路の渋滞が懸念され、交通ネットワークのあり方が大きな課題となっています。</p> <p>これに伴い空港臨海部の土地利用形態に大きな変化が表れ、今後の土地利用のあり方も、もう1つの重要な課題です。</p> <p>本調査では、「空港臨海部グランドビジョン2030」に掲げた「世界を魅了する新しい国際空港・臨海都市」をめざし、新たな土地利用の誘導の方向性や、空港臨海部エリアの基盤となる交通ネットワークの整備に関する調査検討を行い、将来像の具体化へ向けた方向性を示します。</p> <p>【調査検討項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 空港臨海部土地利用の誘導 (2) 空港臨海部交通ネットワークの整備 												
<p>問合先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">まちづくり推進部 まちづくり管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>伊藤 廉</td> <td>電話</td> <td>5744-1331</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>大橋 英一</td> <td>電話</td> <td>5744-1303</td> </tr> </table>	担当課	まちづくり推進部 まちづくり管理課			課長氏名	伊藤 廉	電話	5744-1331	担当者氏名	大橋 英一	電話	5744-1303
担当課	まちづくり推進部 まちづくり管理課												
課長氏名	伊藤 廉	電話	5744-1331										
担当者氏名	大橋 英一	電話	5744-1303										

【6】魅力あるまちづくり（10）

<p>事業名</p>	<p>景観計画策定事業</p>									
<p>予算額</p>	<p>1, 558万円</p>									
<p>事業のねらい</p>	<p>景観法を活用した景観行政を推進するため、景観行政団体への移行、大田区景観計画の策定をめざします。</p>									
<p>事業概要</p>	<p>現在、大田区の区域は、東京都が「景観行政団体」として景観行政を担っています。</p> <p>大田区では、東京都との協議を進め、「景観行政団体」への移行をめざすとともに、学識経験者、区民等を交えた策定委員会を立上げ、景観計画案及び景観条例を策定します。</p> <p>1 景観計画 景観計画とは、景観行政団体※が景観行政を進める際の基本的な計画となるものです。</p> <p>大田区では景観法に基づき、①景観計画区域、②良好な景観形成に関する方針、③良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項などを景観計画とし定めます。</p> <p>2 景観条例 景観条例を新たに制定して、景観計画を踏まえた良好な景観形成の促進に努めます。</p> <p>※景観行政団体 景観法第7条に規定する景観行政を担う主体（団体）。</p>									
<p>問合せ先</p>	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>まちづくり推進部</td> <td>まちづくり管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>西山 正人</td> <td>電話 5744-1663</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>中村 哲</td> <td>電話 5744-1333</td> </tr> </table>	担当課	まちづくり推進部	まちづくり管理課	課長氏名	西山 正人	電話 5744-1663	担当者氏名	中村 哲	電話 5744-1333
担当課	まちづくり推進部	まちづくり管理課								
課長氏名	西山 正人	電話 5744-1663								
担当者氏名	中村 哲	電話 5744-1333								

【6】魅力あるまちづくり (11)

<p>事業名</p>	<p>公園施設長寿命化計画策定</p>
<p>予算額</p>	<p>3, 465万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>適切な施設点検・維持補修等により予防保全型管理を行い、施設の長寿命化対策と計画的な改築・更新を図り、安全対策強化と改築・更新費用の平準化を図ることを目的として、公園施設長寿命化計画を策定します。</p> <p>また、施設の調査・計画策定データを電子化し、施設の維持・管理に必要な情報をシステム内で一元的に管理することで、常に最新の情報を共有化することができ、大幅な時間コストの削減により効率的効果的な管理・運営を行うことで、区民サービスの向上を実現します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 現状と課題</p> <p>区内には、495箇所の公園・緑地と34箇所の児童遊園があり、公園・緑地の設置箇所数は、東京23区内で最多です。</p> <p>一方、区内の公園施設は老朽化が進んでいます。公園施設を適切に維持補修して施設の延命と計画的な改築・更新を行い、利用者の安全性を確保することは、公園管理者である区の責務であり課題です。</p> <p>2 計画策定のスケジュール</p> <p>平成22年度 公園遊具健全度調査</p> <p>平成23年度 公園施設基礎資料の作成と計画策定施設の選定</p> <p>平成24年度 公園施設長寿命化計画の策定</p> <p>平成25年度 公園施設管理システムの構築</p> <p>なお、策定した計画に基づく公園施設の維持管理に必要な改修工事費については、国庫補助金（社会資本整備総合交付金 補助率1/2）を充当する予定です。</p> <p>3 平成24年度の主な作業内容</p> <p>(1) 公園の利用状況や全体の施設配置等の現地調査</p> <p>(2) 対象施設（公園施設・建築物や橋梁、擁壁等）の専門技術者による健全度判定</p> <p>(3) ライフサイクルコストの分析</p> <p>(4) 長寿命化計画の検討と策定</p> <p>(5) 点検・修繕データの電子化</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課</p> <p>課長氏名 河野 秀夫 電話 5744-1689</p> <p>担当者氏名 鈴木 隆広 電話 5744-1304</p>

【6】魅力あるまちづくり (12)

事業名	 団体支援とネットワークの強化												
予算額	3,305万円												
事業のねらい	連携・協働を推進する仕組みづくりを行うほか、地域ネットワークの強化や、地域に協働事業を広げるきっかけづくりを行い、地域力を高めます。												
事業概要	<p>1 地域力応援基金助成事業 3,133万円 地域力応援基金の活用により、福祉、子育て、まちづくり等の区民活動を資金面から支援し、地域力の発掘・活性化を進めます。 (1) スタートアップ助成 設立からおおむね5年以内の団体を対象とし自立を支援します。 助成額：新規10万～50万円 継続1年10万～30万円 (2) ステップアップ・ジャンプアップ助成 地域の方が地域のために行う事業を対象としています。 平成24年度に募集・審査を実施し、25年4月からの事業開始を予定しています。 ①ステップアップ助成 事業テーマは、各団体のオリジナルテーマで募集します。 助成額：新規50万～300万円 継続1年50万～200万円 ②ジャンプアップ助成 事業テーマは区から提示し、区の課題を担っていただく団体を募集します。 助成額：新規400万円 継続1年400万円 ※平成24年度はステップアップ助成9事業、ジャンプアップ助成2事業を実施します。</p> <p>2 協働推進講師派遣事業 30万円 自治会・町会やNPO等区民活動団体が実施する事業の中で、協働の視点を持った事業に講師を派遣します。 派遣回数 (1) 自治会・町会からの申請による派遣 6回 (2) 区民活動団体の申請による派遣 4回</p> <p>3 区民活動情報サイト（オーちゃんネット）の運営 141万円 地域で活動している区民活動団体の情報をインターネット等で提供し、地域デビューや団体間の連携・協働を進めます。登録は平成24年2月10日現在、349団体です。</p>												
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">地域振興部 地域振興課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>区民協働担当課長</td> <td>白鳥 信也</td> <td>電話 5744-1225</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td></td> <td>松木 伸浩</td> <td>電話 5744-1204</td> </tr> </table>	担当課	地域振興部 地域振興課			課長氏名	区民協働担当課長	白鳥 信也	電話 5744-1225	担当者氏名		松木 伸浩	電話 5744-1204
担当課	地域振興部 地域振興課												
課長氏名	区民協働担当課長	白鳥 信也	電話 5744-1225										
担当者氏名		松木 伸浩	電話 5744-1204										

